

株式会社 アシックス



ストップ&ジャンプ自在。

グリップ力抜群のニューソール装備、新製品〈スカイハンドスペシャル〉

アシックスタイガーの新製品 スカイハンドスペシャル はストップ&ジャンプが自在にできるハンドボール専用シューズです。

写真の底意匠にご注目ください。複雑なトレッド(溝)をソール全面に刻み込んでいます。これは、ハンドボール特有の、多角的な動きに対応するため、とくに拇指球下のリング状態匠はグリップ力を飛躍的に高めます。このため、選手は思うようにストップでき、また思

うようにジャンプすることができます。

●甲被はステア表革と銀付ヘロアの2タイプ。●独創のカップソールは甲被を食わえ込む設計で、足ブレを防ぎます。●大型ヒールカウンターはカカトをガッチリ保持し、選手の動作能力を高めます。

●軽さ、クッション性も卓越。ストップ&ジャンプの スカイハンドスペシャル で栄光をつかんでください。

asics TIGER[®]

Handball Shoes

スカイハンド[®] スペシャル

スカイハンド スペシャル (THH705)

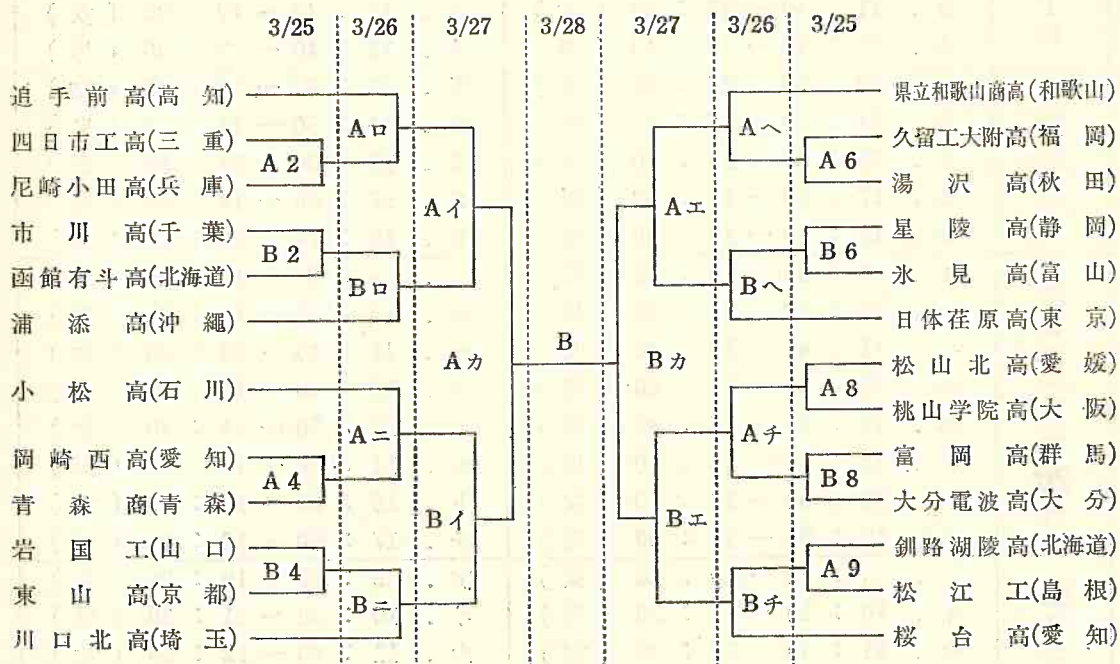
●甲被はステア表革(ホワイト)、銀付ヘロア(レッド、ロイヤルブルー)、裏地はナイロン。●アウトソールはラバーのカップソール。●ロイヤルブルー×ホワイト、ホワイト×レッド、レッド×ホワイト。●サイズ 22.5~28.0cm

標準小売価格 ¥12,000

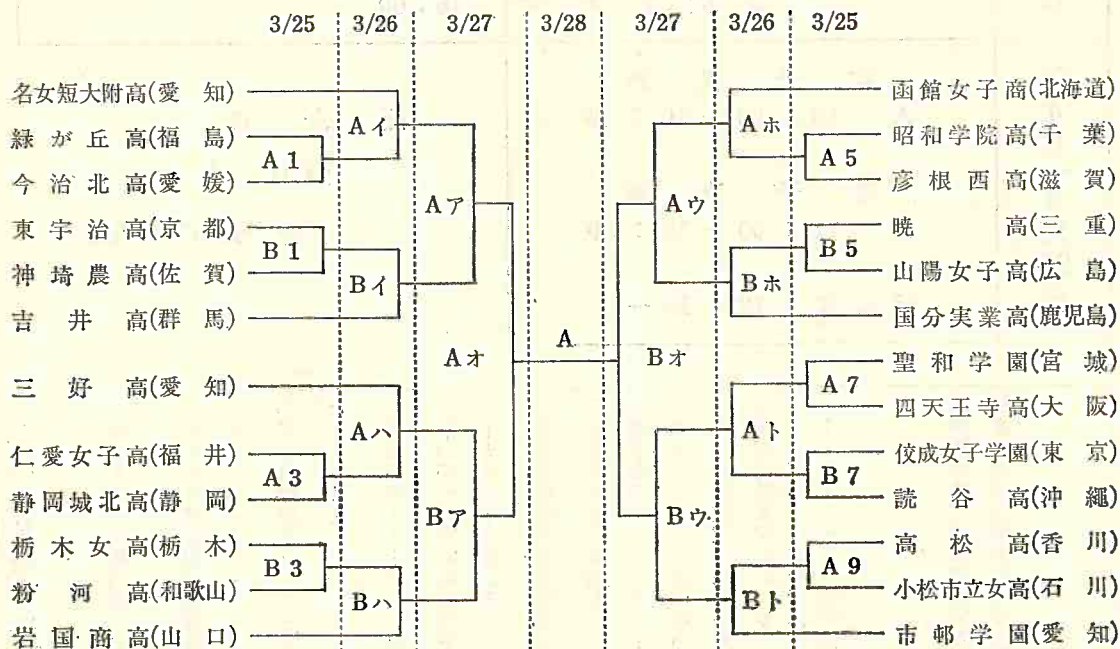
NEW

昭和57年度全国高等学校選抜大会組合せ

(男子の部)



(女子の部)



全国高校選抜大会競技日程 (案)

	Aコート (西)	Bコート (東)
第1日 (3月25日)	1. 9:30 ~ 10:20 (女) 2. 10:30 ~ 11:30 (男) 3. 11:40 ~ 12:30 (女) 4. 12:40 ~ 13:40 (男) 5. 13:50 ~ 14:40 (女) 6. 14:50 ~ 15:50 (男) 7. 16:00 ~ 16:50 (女) 8. 17:00 ~ 18:00 (男) 9. 18:10 ~ 19:00 (女)	1. 9:30 ~ 10:20 (女) 2. 10:30 ~ 11:30 (男) 3. 11:40 ~ 12:30 (女) 4. 12:40 ~ 13:40 (男) 5. 13:50 ~ 14:40 (女) 6. 14:50 ~ 15:50 (男) 7. 16:00 ~ 16:50 (女) 8. 17:00 ~ 18:00 (男) 9. 18:10 ~ 19:10 (男)
第2日 (3月26日)	イ. 9:30 ~ 10:20 (女) ロ. 10:30 ~ 11:30 (男) ハ. 11:40 ~ 12:30 (女) ニ. 12:40 ~ 13:40 (男) ホ. 13:50 ~ 14:40 (女) ヘ. 14:50 ~ 15:50 (男) ト. 16:00 ~ 16:50 (女) チ. 17:00 ~ 18:00 (男)	イ. 9:30 ~ 10:20 (女) ロ. 10:30 ~ 11:30 (男) ハ. 11:40 ~ 12:30 (女) ニ. 12:40 ~ 13:40 (男) ホ. 13:50 ~ 14:40 (女) ヘ. 14:50 ~ 15:50 (男) ト. 16:00 ~ 16:50 (女) チ. 17:00 ~ 18:00 (男)
第3日 (3月27日)	ア. 9:30 ~ 10:20 (女) イ. 10:30 ~ 11:30 (男) ウ. 11:40 ~ 12:30 (女) エ. 12:40 ~ 13:40 (男) オ. 13:50 ~ 14:40 (女) カ. 14:50 ~ 15:50 (男)	ア. 9:30 ~ 10:20 (女) イ. 10:30 ~ 11:30 (男) ウ. 11:40 ~ 12:30 (女) エ. 12:40 ~ 13:40 (男) オ. 13:50 ~ 14:40 (女) カ. 14:50 ~ 15:50 (男)
	3位表彰式	16:00
第4日 (3月28日)	女子決勝 A 10:00 ~ 10:50 男子決勝 B 11:00 ~ 12:00 閉会式 12:10 ~	開 会 式 24日 午後3時 (於 愛知県体育館)

「ハンドボール」

58年3月号 (第216号) 目次

○昭和57年度全国高校選抜大会組合せ決まる……………(1)

○男子出場校メンバー……………(3)

○女子出場校メンバー……………(7)

○特別原稿……………西田 啓……………(12)

○第14回全日本実業団男子トーナメント大会……………(16)

○第1回顧問会議開かる……………(20)

○全日本大会の審判を顧りみて……………(22)

○第9回アジア大会に参加して……………(24)

……………光島磯雄・佐分正典……………(28)

○神奈川県高校における……………(30)

ハンドボール実施状況……………(32)

……………設楽孝治……………(36)

【表紙写真】昭和57年度全国高校選抜大会の組合せ、日程表

◆函館有斗高校

<北海道>

- 監督 長谷川軍司
 ○GK①小野武久(1年)
 171cm 65kg
 ②三上嘉人(1年)
 175cm 67kg
 ○FP②茂木 健(2年) 主将
 173cm 66kg
 ③有本 勇(2年)
 171cm 61kg
 ④野田竜一(2年)
 161cm 46kg
 ⑤今井康雄(2年)
 168cm 61kg
 ⑥上林嘉則(2年)
 165cm 60kg
 ⑦小野賢貴(2年)
 168cm 56kg
 ⑧川口智史(2年)
 163cm 52kg
 ⑨匂坂勝志(2年)
 171cm 60kg
 ⑩神 智生(1年)
 184cm 60kg
 ⑪富樫栄一郎(1年)
 178cm 65kg

◆釧路湖陵高校

<北海道>

- 監督 小島収治
 ○GK①花畑教之(2年)
 180cm 70kg
 ②長尾淳三(1年)
 170cm 58kg
 ○FP②田村浩紀(2年) 主将
 163cm 55kg
 ③本間尚彦(2年)
 175cm 63kg
 ④立沢俊也(2年)
 171cm 55kg
 ⑤杉村莊平(2年)
 180cm 70kg
 ⑥須藤 淳(2年)
 177cm 62kg
 ⑦小林宣彦(2年)
 160cm 47kg
 ⑧中村公司(1年)
 175cm 66kg
 ⑨神 好人(1年)
 171cm 55kg
 ⑩舟山明嘉(1年)
 173cm 55kg
 ⑪加藤 聡(1年)
 171cm 55kg

男子

昭和57年度
 全国高校選抜大会
 出場校メンバー

◆県立富岡高校

<群馬県>

- 監督 宇佐美幸彦
 ○GK①清水博司(2年) 主将
 174cm 64kg
 ②斉藤 正(1年)
 167cm 60kg
 ○FP②浅香勝利(1年)
 169cm 60kg
 ③下川 晃(2年)
 170cm 66kg
 ④小金沢吉仁(2年)
 174cm 65kg
 ⑤上原 久(2年)
 168cm 59kg
 ⑥長岡智久(2年)
 163cm 57kg
 ⑦松原千哲(1年)
 171cm 56kg
 ⑧柴田守弘(2年)
 167cm 62kg
 ⑨野口 太(1年)
 177cm 65kg
 ⑩矢野秀和(2年)
 169cm 56kg
 ⑪岡野克己(2年)
 174cm 69kg

◆県立湯沢高校

<秋田県>

- 監督 由利 弘
 ○GK①大沼一義(2年)
 180cm 70kg
 ②菅原秀輝(1年)
 172cm 62kg
 ○FP②高橋俊英(2年) 主将
 168cm 60kg
 ③伊藤 守(2年)
 178cm 68kg
 ④長沢純平(2年)
 186cm 75kg
 ⑤斎藤慎太郎(2年)
 189cm 78kg
 ⑥藤原孝寿(2年)
 169cm 65kg
 ⑦佐藤正和(1年)
 171cm 65kg
 ⑧庫山 徹(1年)
 168cm 61kg
 ⑨斉藤 敏(1年)
 182cm 65kg
 ⑩古山広和(1年)
 173cm 60kg
 ⑪松田幸喜(1年)
 174cm 63kg

◆県立青森商業高校

<青森県>

- 監督 岡本和夫
 ○GK①鹿内 聡(2年)
 178cm 72kg
 ②——
 ○FP②柳谷 聡(2年) 主将
 163cm 60kg
 ③山野忠一(2年)
 184cm 78kg
 ④伊原康彦(1年)
 172cm 58kg
 ⑤小笠原孝浩(2年)
 178cm 72kg
 ⑥室谷光昭(2年)
 164cm 55kg
 ⑦長洞直毅(1年)
 170cm 63kg
 ⑧柳谷秀康(2年)
 170cm 60kg
 ⑨三上敦也(1年)
 180cm 64kg
 ⑩千葉英雄(1年)
 170cm 60kg
 ⑪西部秋一(1年)
 165cm 53kg

市川高校

<千葉県>

- 監督 釜谷 泉
 ○GK①平松 裕 (2年) 主将
 172cm 85kg
 ⑫早乙女敬章 (1年)
 164cm 63kg
 ○FP②新地秀平 (2年)
 177cm 66kg
 ③清瀬慎一 (2年)
 184cm 66kg
 ④井上武人 (2年)
 166cm 56kg
 ⑤渡辺繁之 (2年)
 166cm 55kg
 ⑥矢吹 歩 (1年)
 172cm 58kg
 ⑦立元章善 (1年)
 168cm 61kg
 ⑧勝又友章 (2年)
 163cm 55kg
 ⑨川鍋正行 (1年)
 172cm 69kg
 ⑩菅澤靖夫 (1年)
 180cm 70kg
 ⑪尾沼勝司 (1年)
 184cm 69kg

日体荏原高校

<東京都>

- 監督 小林平八
 ○GK①花本昌宏 (2年)
 178cm 65kg
 ⑫大原政文 (2年)
 183cm 70kg
 ○FP②林 功 (2年) 主将
 178cm 68kg
 ③根本雅司 (2年)
 171cm 60kg
 ④吉田孝一 (2年)
 180cm 63kg
 ⑤横堀則和 (2年)
 175cm 69kg
 ⑥真野秀二 (2年)
 165cm 60kg
 ⑦明石康宏 (2年)
 185cm 78kg
 ⑧西川信行 (2年)
 176cm 67kg
 ⑨渡辺 孝 (2年)
 167cm 58kg
 ⑩長原武志 (1年)
 173cm 65kg
 ⑪福田和広 (2年)
 173cm 60kg

県立川口北高校

<埼玉県>

- 監督 土屋雅男
 ○GK①渡辺隆二 (1年)
 175cm 60kg
 ⑫三原正規 (2年) 主将
 180cm 65kg
 ○FP②岩崎正博 (2年)
 174cm 65kg
 ③西宮 豊 (1年)
 170cm 66kg
 ④高須一裕 (1年)
 169cm 55kg
 ⑤戸田宗幸 (2年)
 174cm 65kg
 ⑦増田貴哉 (1年)
 165cm 58kg
 ⑨萩原 稔 (2年)
 173cm 65kg
 ⑩永島 進 (2年)
 174cm 65kg
 ⑬原田仁志 (2年)
 176cm 70kg
 ⑭吉岡智之 (2年)
 178cm 66kg
 ⑮塚田慎一 (1年)
 170cm 63kg

県立小松高校

<石川県>

- 監督 古橋幹夫
 ○GK①山崎昭彦 (2年)
 171cm 63kg
 ⑫林 繁 (1年)
 173cm 60kg
 ○FP②平野清成 (1年)
 169cm 54kg
 ③矢地昌平 (2年)
 173cm 66kg
 ④加藤孝治 (2年)
 172cm 58kg
 ⑤寺下拓也 (2年) 主将
 171cm 63kg
 ⑥永井博人 (2年)
 168cm 54kg
 ⑦酢谷 浩 (2年)
 170cm 56kg
 ⑧堀江典生 (1年)
 166cm 60kg
 ⑨村中英夫 (1年)
 174cm 56kg

県立氷見高校

<富山県>

- 監督 徳前啓人
 ○GK①桜打佳浩 (2年)
 175cm 69kg
 ⑫山田光彦 (1年)
 172cm 59kg
 ○FP②岩上浩一郎 (1年)
 176cm 66kg
 ③前山徳彦 (2年)
 177cm 64kg
 ④堀川健志 (2年)
 173cm 60kg
 ⑤山本幹雄 (1年)
 170cm 61kg
 ⑥大伴 裕 (2年) 主将
 175cm 57kg
 ⑦北山和仁 (2年)
 167cm 57kg
 ⑧吉木正浩 (2年)
 173cm 63kg
 ⑨杉本孝司 (2年)
 177cm 70kg
 ⑩森 義久 (1年)
 164cm 63kg
 ⑪春木竜馬 (1年)
 176cm 75kg

星陵高校

(静岡県)

- 監督 細沢 寛
 ○GK①和久田孝治 (2年)
 181cm 72kg
 ⑫小泉雅紀 (2年)
 177cm 72kg
 ○FP②大井英臣 (2年) 主将
 177cm 68kg
 ③飯嶋邦康 (2年)
 183cm 75kg
 ④細谷直弘 (2年)
 186cm 80cm
 ⑤本田勝美 (2年)
 182cm 65kg
 ⑥佐野俊洋 (2年)
 180cm 68kg
 ⑦渡辺富士男 (2年)
 172cm 68kg
 ⑧寺尾博延 (2年)
 175cm 62kg
 ⑨宇治邦記 (2年)
 166cm 60kg
 ⑩市野雅大 (2年)
 180cm 69kg
 ⑪福島博文 (2年)
 166cm 58kg

◆県立四日市工業高校

<三重県>

- 監督 川畑幸永
 ○GK①杉山英喜(2年)
 170cm 60kg
 ②奥村陽司(1年)
 180cm 68kg
 ○FP②服部俊治(2年)
 178cm 65cm
 ③伊藤直三(2年) 主将
 167cm 62cm
 ④菊池一也(2年)
 167cm 60kg
 ⑤西村仁志(2年)
 176cm 65kg
 ⑥南部 豊(2年)
 173cm 65kg
 ⑦鈴木義幸(2年)
 173cm 62kg
 ⑧中村敏明(2年)
 173cm 62kg
 ⑨小倉 崇(2年)
 170cm 63kg
 ⑩水谷俊之(2年)
 170cm 62kg
 ⑪伊藤伸二(1年)
 172cm 68kg

◆名古屋市立桜台高校

<愛知県>

- 監督 秋山尚樹
 ○GK①長船宏昭(2年)
 179cm 67kg
 ②野坂利之(1年)
 180cm 65kg
 ○FP②津兼秀行(1年)
 179cm 65kg
 ③平松千章(2年) 主将
 178cm 70kg
 ④加藤信彦(2年)
 165cm 56kg
 ⑤黒田恒己(2年)
 178cm 67kg
 ⑥三輪一義(2年)
 177cm 68kg
 ⑦山下智寛(1年)
 172cm 55kg
 ⑧塩坂芳彦(1年)
 179cm 62kg
 ⑨館本真吾(2年)
 169cm 56kg
 ⑩山田基弘(1年)
 172cm 56kg
 ⑪澤田寿夫(1年)
 174cm 62kg

◆岡崎城西高校

<愛知県>

- 監督 本多光雄
 ○GK①橋本行弘(2年)
 186cm 72kg
 ②島田敏昭(1年)
 181cm 73kg
 ○FP②吉見有正(2年) 主将
 169cm 56kg
 ③畑田和彦(1年)
 174cm 65kg
 ④柴田浩之(2年)
 175cm 63kg
 ⑤草野雅彦(1年)
 172cm 59kg
 ⑥中島 洋(1年)
 173cm 61kg
 ⑦宮崎裕治(2年)
 167cm 57kg
 ⑧酒井茂明(2年)
 181cm 78kg
 ⑨井上勝則(2年)
 169cm 60kg
 ⑩堀 恵輔(2年)
 178cm 68kg
 ⑪小栗国広(1年)
 165cm 50kg

◆県立和歌山商業高校

<和歌山>

- 監督 尾高義彦
 ○GK①岸 正純(2年)
 173cm 66kg
 ②今宮陽平(1年)
 169cm 53kg
 ○FP②川本恭資(2年) 主将
 170cm 60kg
 ③太田昌人(2年)
 180cm 70kg
 ④泉尾建次(2年)
 163cm 55kg
 ⑤宮崎一郎(2年)
 177cm 59kg
 ⑥中井淳之(2年)
 177cm 60kg
 ⑦辻本敏之(2年)
 175cm 64kg
 ⑧山下秀夫(1年)
 177cm 65kg
 ⑨村田亮彦(1年)
 164cm 47kg
 ⑩山本佳伸(2年)
 169cm 67kg
 ⑪出野靖博(2年)
 181cm 63kg

◆桃山学院高校

<大阪府>

- 監督 高橋精一
 ○GK①政田和久(1年)
 176cm 64kg
 ②安達哲哉(1年)
 174cm 66kg
 ○FP②柚山英司(2年)
 166cm 60kg
 ③井内宏征(2年) 主将
 177cm 72kg
 ④大原讓二(2年)
 182cm 82kg
 ⑤納 功(2年)
 174cm 67cm
 ⑥壘田祐生(2年)
 174cm 67kg
 ⑦野田次郎(2年)
 177cm 65kg
 ⑧戸田貴之(2年)
 170cm 62kg
 ⑨浜田敏克(1年)
 165cm 59kg
 ⑩中林 優(1年)
 175cm 67kg
 ⑪福田龍作(1年)
 166cm 60kg

◆東山高校

(京都府)

- 監督 堀田靖人
 ○GK①馬場 功(2年)
 180cm 74kg
 ②吉田光男(1年)
 179cm 78kg
 ○FP②安部克典(1年)
 180cm 62kg
 ③岡 昌賢(1年)
 183cm 78kg
 ④城 一雅(1年)
 171cm 61kg
 ⑤香西賢治(1年)
 170cm 56kg
 ⑥酒井一登(2年) 主将
 175cm 70kg
 ⑦百成伸弘(2年)
 168cm 55kg
 ⑧高尾圭亮(2年)
 180cm 70kg
 ⑨滝本貴之(2年)
 170cm 58kg
 ⑩後藤 亥(2年)
 168cm 62kg
 ⑪前原良昭(2年)
 174cm 55kg

◆県立岩国工業高校

<山口県>

- 監督 青木 操
 ○GK①前田裕之(2年)
 168cm 57kg
 ②吉屋孝彦(2年)
 177cm 69kg
 ○FP②横井和孝(1年)
 188.5cm 66kg
 ③中本千和紀(2年)
 179cm 74kg
 ④今金和茂(2年)
 179cm 65kg
 ⑤島里 誓(2年) 主将
 173.3cm 70kg
 ⑥冨永治己(2年)
 170cm 60kg
 ⑦弘岡伸治(2年)
 165.2kg 56kg
 ⑧冨川弥一(2年)
 166cm 62kg
 ⑨藤井裕喜(2年)
 174cm 66kg
 ⑩三津井利典(2年)
 167cm 60kg
 ⑪松前健治(1年)
 166cm 56kg

◆県立松江工業高校

<島根県>

- 監督 佐々布都好
 ○GK①湯浅 弘(2年)
 176cm 66kg
 ②細木康弘(1年)
 173cm 63kg
 ○FP②菅田英明(2年)
 170cm 63kg
 ③森脇哲夫(2年)
 176cm 65kg
 ④井上由紀夫(2年)
 165cm 54kg
 ⑤金崎健司(2年)
 167cm 57kg
 ⑥松本一俊(2年)
 167cm 67kg
 ⑦渡部直樹(2年) 主将
 176cm 62kg
 ⑧吾郷都至男(2年)
 168cm 54kg
 ⑨三島伸一(1年)
 166cm 58kg
 ⑩永谷年司(1年)
 168cm 57kg
 ⑪堀内厚志(1年)
 160cm 50kg

◆県立尼崎小田高校

<兵庫県>

- 監督 迫野洋由
 ○GK①山下勝弘(2年)
 179cm 62kg
 ②小寺淳夫(1年)
 165cm 54kg
 ○FP②岩田義美(2年)
 165cm 50kg
 ③市村 実(2年)
 177cm 65kg
 ④吉田淳史(2年)
 174cm 58kg
 ⑤北島伸吾(2年)
 173cm 57kg
 ⑥阪本雅彦(2年)
 174cm 64kg
 ⑦篠原政明(2年) 主将
 167cm 63kg
 ⑧高木弘之(2年)
 182cm 87kg
 ⑨白植 修(1年)
 165cm 52kg
 ⑩秀岡勇三(1年)
 167cm 51kg
 ⑪二川一彦(1年)
 168cm 50kg

◆久留米工業大学附属高校

<福岡県>

- 監督 古賀 昇
 ○GK①秋吉哲男(2年)
 190cm 78kg
 ②坂本詔一(1年)
 173cm 63kg
 ○FP②片山勝立(2年)
 176cm 67kg
 ③甲斐章義(1年)
 181cm 65kg
 ④久保田竹彦(2年)
 175cm 55kg
 ⑤中西孝治(2年)
 164cm 56kg
 ⑥野中朋友(2年)
 182cm 65kg
 ⑦永松義浩(2年)
 177cm 69kg
 ⑧村田文彦(1年)
 179cm 60kg
 ⑨樋口錠二(2年)
 177cm 62kg
 ⑩坂田幸治(2年)
 173cm 65kg
 ⑪森下秀昭(2年)
 176cm 65cm

◆県立高知道手前高校

<高知県>

- 監督 野村幸司
 ○GK①国沢正久(2年)
 172cm 55kg
 ②岸本修一(1年)
 171cm 66kg
 ○FP②山脇 潤(1年)
 175cm 65kg
 ③山崎祐介(2年) 主将
 170cm 63kg
 ④西川雅也(1年)
 172cm 55kg
 ⑤石井吉則(2年)
 160cm 50kg
 ⑥近田 治(2年)
 162cm 52kg
 ⑦友草隆志(1年)
 174cm 57kg
 ⑧中山誠志(1年)
 166cm 50kg
 ⑨川村卓史(2年)
 172cm 60kg
 ⑩宮崎光一(1年)
 164cm 53kg
 ⑪川上雅資(2年)
 176cm 55kg

◆県立松山北高校

<愛媛県>

- 監督 野中 聡
 ○GK①吉川直樹(2年)
 172cm 63kg
 ②大野尚文(2年)
 177cm 66kg
 ○FP②石丸雅彦(2年) 主将
 175cm 69kg
 ③山本耕一(2年)
 174cm 67kg
 ④石丸 陽(2年)
 180cm 75kg
 ⑤井手栄治(2年)
 177cm 69kg
 ⑥門田祥二(2年)
 167cm 59kg
 ⑦野田一人(2年)
 182cm 70kg
 ⑧篠原真司(2年)
 172cm 66kg
 ⑨白石知史(2年)
 173cm 59kg
 ⑩篠原真三(1年)
 174cm 62kg
 ⑪沖永瑞智(1年)
 166cm 54kg

◆函館女子商業高校

<北海道>

- 監督 新妻公平
 ○GK①越後谷芳子(2年)
 162cm 57kg
 ②佐々木美子(2年)
 168cm 55kg
 ○FP②大谷真澄(2年) 主将
 162cm 55kg
 ③海道昭子(2年)
 170cm 56kg
 ④海道元子(2年)
 171cm 55kg
 ⑤大釜朋恵(2年)
 157cm 54kg
 ⑥旭 静代(2年)
 162cm 58kg
 ⑦長谷川はるみ(1年)
 158cm 48kg
 ⑧平田公枝(1年)
 168cm 56kg
 ⑨三浦千秋(1年)
 167cm 65kg
 ⑩浜田寿代(1年)
 160cm 57kg
 ⑪佐藤彩子(1年)
 155cm 57kg

女子

昭和57年度
 全国高校選抜大会
 出場校メンバー

◆大分電波高校

<大分県>

- 監督 富松秋夫
 ○GK①藤内竜之助(1年)
 176cm 63kg
 ②藍沢国幸(1年)
 190cm 81kg
 ○FP②後藤健二(1年)
 180cm 64kg
 ③足立裕之(2年)
 173cm 72kg
 ④海江田達観(1年)
 180cm 66kg
 ⑤児玉英彦(1年)
 181cm 65kg
 ⑥朝来靖志(1年)
 175cm 70kg
 ⑦山地 悟(2年) 主将
 173cm 60kg
 ⑧和田和己(2年)
 167cm 53kg
 ⑨朝生浩司(2年)
 167cm 67kg
 ⑩山下和義(2年)
 166cm 57kg
 ⑪橋本準二(2年)
 164cm 62kg

◆緑が丘高校

<福島県>

- 監督 安部信夫
 ○GK①芦沢美由起(2年)
 164cm 58kg
 ②南館あけみ(2年)
 167cm 62kg
 ○FP②橋本紀美江(2年)
 168cm 61kg
 ③五十嵐晴美(2年)
 167cm 65kg
 ④朝倉栄子(2年)
 163cm 58kg
 ⑤安藤祐美子(2年)
 162cm 52kg
 ⑥阿部静香(2年)
 160cm 55kg
 ⑦後藤香里(2年) 主将
 153cm 52kg
 ⑧中川秀子(2年)
 159cm 57kg
 ⑨羽田まゆみ(2年)
 156cm 56kg
 ⑩安西恵美(2年)
 150cm 47kg
 ⑪結城幸子(1年)
 160cm 52kg

◆聖和学園吉田高校

<宮城県>

- 監督 森 順一
 ○GK①佐藤みゆき(2年)
 163cm 58kg
 ②行方公江(1年)
 172cm 54kg
 ○FP②鈴木朋江(2年)
 162cm 55kg
 ③鈴木美幸(2年) 主将
 168cm 58kg
 ④中川幸子(2年)
 164cm 54kg
 ⑤上村千春(2年)
 159cm 56kg
 ⑥兔沢小百合(2年)
 162cm 54kg
 ⑦千葉恵美(2年)
 160cm 55kg
 ⑧佐藤美佳(2年)
 159cm 55kg
 ⑨最上裕子(2年)
 159cm 54kg
 ⑩斎藤順子(1年)
 163cm 56kg
 ⑪今野利恵(1年)
 162cm 55kg

◆県立浦添高校

<沖縄県>

- 監督 儀間次男
 ○GK①奥間和紀(2年)
 173cm 63kg
 ②新城達也(1年)
 179cm 69kg
 ○FP②津波古義人(2年)
 165cm 52kg
 ③西原秀彦(2年)
 175cm 67kg
 ④島袋一郎(2年)
 166cm 55kg
 ⑥松田好泰(1年)
 173cm 65kg
 ⑥松田甚栄(1年)
 178cm 66kg
 ⑦新城秀樹(1年)
 173cm 60kg
 ⑧宮城吉晃(1年)
 172cm 60kg
 ⑨栗国 隆(1年)
 173cm 61kg
 ⑩由浅 太(1年)
 177cm 66kg
 ⑪名護敏厚(1年)
 178cm 65kg

◆佼成学園女子高校

<東京都>

- 監督 加藤益弘
 ○GK①平野恵子(2年) 主将
 158cm 53kg
 ②梅沢夏子(2年)
 164cm 58kg
 ○FP②杉田理恵(2年)
 161cm 53kg
 ③久保浩子(2年)
 164cm 58kg
 ④松尾沢乃(2年)
 160cm 59kg
 ⑤石谷聡枝(2年)
 159cm 48kg
 ⑥市野百合子(2年)
 165cm 58kg
 ⑦渡辺雅子(2年)
 154cm 49kg
 ⑧長良めぐみ(1年)
 160cm 49kg
 ⑨大場夕子(1年)
 158cm 53kg
 ⑩網野和美(1年)
 160cm 53kg
 ⑪北島奈津子(1年)
 160cm 58kg

◆県立吉井高校

<群馬県>

- 監督 永井 正
 ○GK①大河原秀美(2年)
 165cm 57kg
 ②遠藤すみ子(2年)
 161cm 56kg
 ○FP②江原材枝(2年) 主将
 165cm 54kg
 ③島崎純子(2年)
 170cm 59kg
 ④野口雅代(2年)
 158cm 51kg
 ⑤井上妙子(2年)
 160cm 59kg
 ⑥春山真由美(1年)
 154cm 55kg
 ⑦石井美恵子(2年)
 162cm 56kg
 ⑧田中美由貴(2年)
 158cm 54kg
 ⑨横尾利架(2年)
 164cm 56kg
 ⑩小林喜代子(1年)
 160cm 58kg
 ⑪武田久美(1年)
 156cm 57kg

◆県立栃木女子高校

<栃木県>

- 監督 高橋 誠
 ○GK①吉田喜代美(2年)
 161cm 57kg
 ②吉村佐和子(1年)
 167cm 59kg
 ○FP②縫田洋美(2年)
 168cm 57kg
 ③佐山幸子(2年) 主将
 164cm 61kg
 ④塩谷恵美(2年)
 162cm 54kg
 ⑤川合美智子(2年)
 160cm 56kg
 ⑥五十畑初江(2年)
 158cm 54kg
 ⑦相川貴子(1年)
 165cm 60kg
 ⑧名塚直子(1年)
 161cm 53kg
 ⑨中村美由紀(1年)
 160cm 57kg
 ⑩渡辺裕美子(1年)
 159cm 52kg
 ⑪福田洋子(1年)
 152cm 57kg

◆市邨学園高校

<愛知県>

- 監督 縣 敏郎
 ○GK①酒巻阿樹子(2年)
 163cm 57kg
 ②桑原章恵(1年)
 161cm 58kg
 ○FP②押水美千代(2年)
 166cm 55kg
 ③堀田 恵(2年)
 159.5cm 54kg
 ④木村美千枝(2年)
 154cm 47kg
 ⑤安東知代(1年)
 158cm 48kg
 ⑥坂倉ゆかり(1年)
 164cm 59kg
 ⑦西尾多可(2年)
 153cm 48kg
 ⑧景山三佳(2年)
 154cm 53kg
 ⑨桜井由美子(1年)
 164.5cm 44kg
 ⑩小島邦子(1年)
 168.5cm 65kg
 ⑪梶田きよみ(2年)
 162cm 52kg

◆県立静岡城北高校

<静岡県>

- 監督 川崎 弘
 ○GK①森かつ美(2年)
 160cm 60kg
 ②尾焼津庸子(1年)
 171cm 70kg
 ○FP②加藤一美(2年)
 166cm 61kg
 ③望月亜紀(2年)
 164cm 57kg
 ④中川弘子(2年)
 164cm 56kg
 ⑤伊藤由乃(2年)
 163cm 60kg
 ⑥酒井さと子(2年)
 162cm 50kg
 ⑦大村由美子(2年) 主将
 155cm 57kg
 ⑧増田美樹(2年)
 155cm 53kg
 ⑨青島美也子(2年)
 158cm 56kg
 ⑩山下みどり(1年)
 155cm 50kg
 ⑪大金文子(1年)
 164cm 56kg

◆昭和学院高校

<千葉県>

- 監督 笠原利宏
 ○GK①神尾美恵(1年)
 164cm 55kg
 ②太古由起子(1年)
 160cm 49kg
 ○FP②星野富恵(2年) 主将
 164cm 57kg
 ③甲斐夕美子(1年)
 155cm 56kg
 ④齊藤美和(1年)
 160cm 58kg
 ⑤菅田美千子(1年)
 165cm 51kg
 ⑥齊藤美智子(1年)
 161cm 46kg
 ⑦三箇直子(2年)
 165cm 56kg
 ⑧小松崎和恵(1年)
 168cm 51kg
 ⑨須賀和恵(1年)
 160cm 55kg
 ⑩滝口なつ代(2年)
 153cm 52kg
 ⑪河本流音(1年)
 156cm 46kg

●暁高校

<三重県>

- 監督 平賀達也
 ○GK①矢田則子(1年)
 167cm 55kg
 ⑫——
 ○F P②恩田美紀(2年)主将
 157cm 57kg
 ③加藤聡子(2年)
 161cm 57kg
 ④森崎ルミ(2年)
 156cm 52kg
 ⑤水谷由香里(2年)
 156cm 51kg
 ⑥堀内章美(1年)
 163cm 58kg
 ⑦日沖智恵子(1年)
 162cm 53kg
 ⑧三木朱美(1年)
 163cm 55kg
 ⑨山本晶子(1年)
 164cm 57kg
 ⑩荻須寛子(1年)
 155cm 56kg
 ⑪森 訓子(1年)
 155cm 54kg

●県立三好高校

<愛知県>

- 監督 平松 学
 ○GK①松藤初美(2年)主将
 168cm 59kg
 ⑫戸松留美(1年)
 166cm 60kg
 ○F P②岩城里美(2年)
 156cm 55kg
 ③山岡洋子(2年)
 163cm 60kg
 ④佐藤美香(2年)
 161cm 53kg
 ⑤近藤美香(2年)
 156cm 48kg
 ⑥松川聖子(2年)
 164cm 58kg
 ⑦早川 香(2年)
 160cm 55kg
 ⑧毛利美砂子(1年)
 160cm 57kg
 ⑨橋本美智代(1年)
 173cm 54kg
 ⑩都築美奈子(1年)
 154cm 55kg
 ⑪道洞美里(1年)
 164cm 57kg

●名古屋短期大学付属高校

<愛知県>

- 監督 宮崎 昭
 ○GK①小島千明(2年)
 168cm 52kg
 ⑫石川尚美(1年)
 161cm 62kg
 ○F P②渡辺りつ子(2年)
 163cm 54kg
 ③稲垣友美(2年)
 163cm 48kg
 ④高瀬真由美(2年)
 162cm 52kg
 ⑤長谷川薫子(2年)
 169cm 57kg
 ⑥成田知美(2年)
 157cm 50kg
 ⑦御殿敷 恵(2年)
 167cm 62kg
 ⑧筒井千智(2年)
 165cm 57kg
 ⑨城 雅美(1年)
 160cm 50kg
 ⑩奥村隆子(1年)
 155cm 51kg
 ⑪高橋友美子(1年)
 164cm 53kg

●県立彦根西高校

<滋賀県>

- 監督 中村喜美夫
 ○GK①田島明美(2年)
 160cm 54kg
 ⑫河地明美(1年)
 164cm 53kg
 ○F P②久保田美香(2年)主将
 163cm 59kg
 ③谷口明美(2年)
 160cm 54kg
 ④浜野和美(2年)
 161cm 61kg
 ⑤奥山朝美(2年)
 157cm 49kg
 ⑥小幡紀子(2年)
 161cm 51kg
 ⑦吉田菜穂美(1年)
 161cm 52kg
 ⑧広瀬始代(1年)
 162cm 50kg
 ⑨西河貞子(1年)
 165cm 60kg
 ⑩小椋美香(1年)
 162cm 53kg
 ⑪川口紀子(2年)
 161cm 50kg

●仁愛女子高校

<福井県>

- 監督 松岡良朔
 ○GK①海道紀世(2年)
 169cm 61kg
 ⑫冨田喜久(1年)
 164cm 50kg
 ○F P②石本順子(2年)
 163cm 54kg
 ③片岡佳子(1年)
 159cm 49kg
 ④川浪佳子(2年)
 157cm 49kg
 ⑤藤川美紀(1年)
 150cm 51kg
 ⑥山崎園恵(2年)
 162cm 58kg
 ⑦谷川静江(2年)
 163cm 57kg
 ⑧菅生純代(2年)
 163cm 55kg
 ⑨石田律子(1年)
 164cm 58kg
 ⑩吉川京子(2年)
 168cm 63kg
 ⑪大角珠生(2年)主将
 168cm 56kg

●小松市立女子高校

<石川県>

- 監督 谷口俊春
 ○GK①柴田和美(1年)
 168cm 54kg
 ⑫大間真理子(1年)
 164cm 56kg
 ○F P②宮野恵子(1年)
 166cm 57kg
 ③和田陽子(1年)
 166cm 54kg
 ④丹後早苗(1年)
 163cm 52kg
 ⑤小幡秀子(2年)
 163cm 56kg
 ⑥米田優佳里(1年)
 160cm 50kg
 ⑦松下優記子(2年)
 160cm 52kg
 ⑧中嶋恵美子(2年)主将
 150cm 48kg
 ⑨林 智恵子(2年)
 154cm 47kg
 ⑩福田なおみ(1年)
 156cm 50kg
 ⑪竹田美紀(1年)
 160cm 52kg

◆県立粉河高校

<和歌山>

- 監督 笹井博隆
 ○GK①小深田由紀子(2年)
 172cm 57kg
 ②田村泰子(1年)
 168cm 57kg
 ○FP②富谷佳世子(2年)主将
 162cm 48kg
 ③森下敬子(2年)
 170cm 55kg
 ④辻本裕子(2年)
 158cm 52kg
 ⑤大畑小百合(2年)
 157cm 47kg
 ⑥岡山好未(2年)
 166cm 57kg
 ⑦安藤千賀(2年)
 153cm 51kg
 ⑧谷端孝代(2年)
 154cm 49kg
 ⑨青田めぐみ(1年)
 163cm 54kg
 ⑩石本悦子(1年)
 163cm 58kg
 ⑪森下佳津(1年)
 166cm 56kg

◆四天王寺高校

<大阪府>

- 監督 繁田順子
 ○GK①加藤陽子(2年)
 169cm 58kg
 ②西田和代(2年)
 165cm 60kg
 ○FP②柳川葉子(2年)主将
 166cm 58kg
 ③浦野美代子(2年)
 164cm 55kg
 ④村山智栄(2年)
 162cm 50kg
 ⑤谷上康代(1年)
 159cm 51kg
 ⑥坂東愛子(1年)
 162cm 57kg
 ⑦福家由紀(1年)
 150cm 48kg
 ⑧藤井美香(1年)
 158cm 52kg
 ⑨藤原由香(1年)
 156cm 55kg
 ⑩村上ひとみ(1年)
 160cm 54kg
 ⑪和気加代子(1年)
 162cm 50kg

◆府立東宇治高校

<京都府>

- 監督 西沢金作
 ○GK①河合陽子(2年)
 162cm 57kg
 ②大味祥恵(1年)
 162cm 61kg
 ○FP②谷口千春(1年)
 169cm 59kg
 ③森 晴代(1年)
 150cm 46kg
 ④原 久美子(2年)主将
 154cm 53kg
 ⑤中尾香代(2年)
 164cm 54kg
 ⑥玉木万美子(1年)
 157cm 52kg
 ⑦富岡美圭(1年)
 157cm 47kg
 ⑧吉田恵子(1年)
 153cm 46kg
 ⑨安川清子(1年)
 155cm 42kg
 ⑩木田和美(1年)
 150cm 48kg
 ⑪——

◆県立高松高校

<香川県>

- 監督 山川明德
 ○GK①吉田絵美(1年)
 161cm 51kg
 ②日下希予子(2年)
 163cm 57kg
 ○FP②木太あゆみ(1年)
 155cm 47kg
 ③友沢実千代(1年)
 155cm 51kg
 ④河野直子(1年)
 161cm 49kg
 ⑤山本和代(1年)
 158cm 55kg
 ⑥上枝美華(1年)
 162cm 53kg
 ⑦森本香織(1年)
 154cm 50kg
 ⑧河野朋子(2年)
 163cm 55kg
 ⑨日下珠美(2年)
 162cm 56kg
 ⑩松岡令子(2年)主将
 158cm 57kg
 ⑪石津知子(2年)
 162cm 56kg

◆県立岩国商業高校

<山口県>

- 監督 佐倉弘之甫
 ○GK①宇佐川千春(2年)
 170cm 55.8kg
 ②松井加津子(2年)
 159cm 60.8kg
 ○FP②伊藤なおみ(2年)
 169cm 55.2kg
 ③横田尚子(2年)主将
 161cm 59.2kg
 ④西村昌美(2年)
 158cm 53.9kg
 ⑤東 照子(2年)
 157cm 54.6kg
 ⑥角 典子(2年)
 159cm 51.2kg
 ⑦谷 のりえ(2年)
 153cm 49.9kg
 ⑧作本由香里(2年)
 157cm 47.2kg
 ⑨森本久美子(2年)
 155cm 52.6kg
 ⑩島岡久恵(2年)
 154cm 48.8kg
 ⑪宮部都美江(1年)
 163cm 53.8kg

◆山陽女子高校

<広島県>

- 監督 片岡賢司
 ○GK①山口妙美(2年)
 168cm 60kg
 ②笑迫弓月(1年)
 163cm 51kg
 ○FP②中嶋華江子(2年)主将
 158cm 55kg
 ③佐々木浩子(2年)
 163cm 57kg
 ④石田真由美(2年)
 160cm 56kg
 ⑤山崎由香(2年)
 169cm 62kg
 ⑥池田能子(1年)
 163cm 55kg
 ⑦沖田奈苗(2年)
 157cm 47kg
 ⑧大林恵子(1年)
 156cm 54kg
 ⑨相川克子(1年)
 160cm 55kg
 ⑩本西尚子(1年)
 161cm 56kg
 ⑪川本恵子(1年)
 159cm 54kg

事務局からの お知らせ

3月19日

3月8日

3月22日
～4月4日

2月27日
～3月6日

定例常務理事会

全日本男子チーム
ヨーロッパ遠征帰国

関東ジュニアハンドボール研修
西独遠征

関西学生ハンドボール
第2回ヨーロッパ遠征

3月31日
～4月4日

3月28日
～3月30日

3月24日
～3月28日

3月21日
～3月31日

アジア招待大会へホンコン
本大洋監督全日本ジュニアチーム参加

第6回日本レフェリーコース

昭和57年全国高校選抜大会
△愛知県体育館△

第11回日韓社会人女子ハンドボール
交流日本各地

●県立神埼農業高校

<佐賀県>

- 監督 甲斐忠義
○GK①早田昌江(2年)
164cm 55kg
②大坪豊子(1年)
164cm 55kg
○FP②太田さつき(2年)
162cm 53kg
③高木るみ子(2年)
160cm 55kg
④山口由美子(2年)
160cm 47kg
⑤香月佐多子(2年)
158cm 53kg
⑥迎 順子(2年)
158cm 47kg
⑦田中京子(2年)
158cm 56kg
⑧内田 歩(2年)
159cm 53kg
⑨重松照美(2年)
152cm 54kg
⑩小野昭子(2年)
164cm 55kg
⑪石丸智子(2年)
158cm 53kg

●県立今治北高校

<愛媛県>

- 監督 柳原 勉
○GK①倉橋容子(2年)
163cm 50kg
②岩井美佐(1年)
165cm 60kg
○FP②藤岡美江(2年) 主将
163cm 54kg
③鎌田範子(2年)
156cm 52kg
④越智睦美(2年)
163cm 55kg
⑤野間富子(2年)
160cm 53kg
⑥伊藤幸子(2年)
164cm 58kg
⑦近藤幸江(2年)
158cm 52kg
⑧近藤潤子(2年)
157cm 57kg
⑨越智淑恵(2年)
164cm 58kg
⑩藤原静江(2年)
155cm 52kg
⑪塚元好美(1年)
160cm 52kg

●県立読谷高校

<沖縄県>

- 監督 新里泰一
○GK①砂辺ルリ子(2年)
161cm 55kg
②小渡則子(1年)
162cm 62kg
○FP②山入端玲子(2年)
161cm 58kg
③上地康子(2年)
162cm 49kg
④當山いづみ(2年)
153cm 49kg
⑤当山輝美(2年)
149cm 50kg
⑥新垣寿栄子(2年) 主将
154cm 50kg
⑦池原繁美(2年)
149cm 45kg
⑧松田みゆき(1年)
150cm 46kg
⑨濱元智恵(2年)
154cm 44kg
⑩金城好江(1年)
159cm 55kg
⑪新垣清美(1年)
160cm 53kg

●県立国分実業高校

<鹿児島県>

- 監督 鶴丸勇美
○GK①阿多石文子(2年) 主将
162cm 55kg
②米平幸恵(1年)
160cm 60kg
○FP②斜木由美子(2年)
154cm 53kg
③古川美穂(2年)
149cm 48kg
④芝 美佐子(2年)
158cm 56kg
⑤久木田ゆかり(2年)
161cm 55kg
⑥岡師政代(2年)
163cm 55kg
⑦室屋誠子(2年)
158cm 55kg
⑧宮原久美子(2年)
158cm 56kg
⑨末永輝美(1年)
166cm 62kg
⑩古賀恵子(1年)
167cm 58kg
⑪斜木千代美(1年)
149cm 45kg

史上初・全国中学大会 男女初優勝をふり返って

石川県芦城中学監督

西田 啓



全国中学大会優勝まで

60年インターハイ・石川開催を3年後に控えた現在、その主力となる中学3年生をいかに強化するかが、われわれの課題であった。昨年の優勝は、その意味からも大変意義深く思われ、彼等にインターハイに向かって、さらに大きな飛躍を期待したい。

今月号より編集委員会からお願ひして、全国の中、高校を中心とした指導者の方々に、その指導理念と練習内容を紹介していただくことに致しました。

第1回の今月は、昨年の全国中学校大会で史上初の男女優勝という快挙を成し遂げた石川県の芦城中学校の指導者・西田啓先生にお願ひ致しました。優勝までの道のり、その指導理念は、全国の指導者の方々にとってきつと参考になることと思ひます。西田先生には、お忙しい中寄稿いただき有難とうございました。今後お願ひする先生方はよろしくお願ひします。また、指導者の方々、選手の方々でお読みになつての感想などございましたら、是非お寄せ下さい。

また、われわれにとつても、指導する以上勝ちたいのは当然だが、毎日の学校教育で忙しい今日、一日一日をただ精一杯やることしか出来ない現状だった。にもかかわらず、男女史上初の全国優勝は、現実とは思えない出来事であった。うれしいのは当然だが、反面、これからを考えるとは不安で、身の引き締まる思いだ。

思えばハンドボールを指導して14年。「全国優勝」の四文字を合ひ言葉に、生徒と共にひたすら来る日も来る日も練習に励んだ。長いようでもあり、実に短かった14年。その中に喜びも、苦しみもあった。

前任校の御幸中での5年は、まだ若く、生徒と共に真つ暗になるまでボールを追い続けた。しかし、まだ未熟で、県優勝までにとどまり、ブロックの壁を破れず、全国大会出場を果たすまでに至らなかった。現在の芦城中へ転動して、練

習は再び原点から出発した。男女の指導については、初めてであり、当初は当惑する事も多かった。まず男子から鍛え始め、念願の全国大会へ出場できたのは4年目の事だった。

その頃から、女子の指導についても本格的にとりくみ始め、夏休みには、午前中は女子、午後は男子と丸一日基本練習を繰り返す等、炎天の下でよく頑張った。苦しかった反面、なつかしい思い出の一コマでもある。

全国大会へ出場するにつれ、名門校の監督とも知り合ひ、あとあと親しく交際する間柄となった。指導面に限らず、監督としての心の広さにも敬服させられ、大きな収穫だった。ハンドボールの指導者である以前に、教育者として、また、人間として考えさせられる一面もあり、自分自身、その後の指針となった。

男女共強くなるにつれ、大きな大会でのここ一番での「勝負」の不安がつり始めた。男女一人の指導のもとでは、所詮は、県レベルまでの優勝に限られ、それ以上の大会では、両方とも勝つのは、大変難しいという結論に達した。事実、一昨年は、県レベルまで男女優勝を成し得たが、ブロックで男女共2位に甘んじた。

この時、肉体的にも精神的にも限界を知り、疲労は極限に達した。男子はともかく権利を得たが、女子は一県一チームの規約のため、2年連続全国大会出場はならなかった。「二兎を追う者は、一兎をも得ず」その教訓から、両チームをさらに強くするために、女子を寺先生に預

け、私は男子に全精力を注いだ。

ともかく昨年の勝利は、この一昨年の辛い体験のもとに、われわれにも生徒にもおおいに「肥やし」となったと言えよう。そしてそれは、史上初の男女優勝という形で実を結び、われわれの生涯にかけがえのない大きな財産を持たらした。

厳しい練習によく耐えぬいた選手諸君や、陰で暖かく見守ってくれた父母、また、胸を貸してくれたOB、OG達、指導して下さった先輩の方々に、深く敬意を表わし感謝したい。

「チームづくりのねらい」

現在、私の最も理想とするのは、全員がコートにフルに走る、スピーディなハンドボールである。誰もがアシストし、誰もがポイントを得られるような「全員ハンド」をチームにチームづくりに当っている。

当初は、大砲主体の上から打つハンドボールを優先させていたが、試合に確実性がなく、ゲームの流れも不安定になりがちなので、最近では、走るハンドボールへと切り替えている。しかし、大きな選手が何人か集まれば、それにこしたことはないが、最近の中学校の部活動では、どちらかと言えば人気のある野球、バスケットボール等に人材が流れがちである。

そのため、よほど選手に恵まれた年なら別だが、大抵の場合、大型の選手は集まりにくい。

その結果、私の場合、特定の選手に頼ることなく、全員力で走ってたたかう



チームづくりになってしまおう。

走力をアップすることにより、守りは強く安定し、速攻からの得点も多くなる。また、セットでも、全員が鋭く、スピーディに絶えまなく走れば、いつかはノーマークが生まれる。

「脚力にスランプはない」と思われる。このように「スピーディな全員ハンド」を目ざす以上、毎日の練習はランニングで始まり、ランニングに終わると言ってもよい。

ハードで走りづくめの練習は、まず「耐えること」より始まっている。夏は炎天の下で、汗と油にまみれて行なわ

れ、冬は極寒の下で風邪とたたかいながら行なわれ、体力の消耗も著しい。

毎日の練習で強調することは「忍耐と努力」であり、これが自然と部のモットーとなった。また、一日一日の練習を試合と心得、基本的な一つ一つのプレーをより真剣にとりくむよう努力している。一本のパスやシュートを、より速くより確実にすることが、一番大切であり、練習の本来の意味はそこにあると思われる。

基本中の基本が、いかに大切かを身を持って体験したことも何度かある。

生徒は約2年半の部活動の中で、時には怪我につきまともわれ、また、ある時は壁にぶつかって悩んだりすることもある。

その中で、一人一人が「我慢」を覚え、「自己の役割」を知りながら成長してゆく。

チームワークは、この苦しみの中から生まれると思われる。

現在、中学生時代は、ともすればまちがい易い傾向にある。身心の不調和な発達や、社会の悪化から、曲がりくねりながら育っていく事も多い。

学習と部活動との両立、そしてその根本となる生活面の指導は、特に難しい。義務教育の観点からは、試行錯誤を繰り返しながらも、たくましく成長させたものである。

ハンドボール競技を通して、私は生徒

を健全に育成し、人生において耐え、努力していく姿勢を身につけさせたい。

△年間のスケジュールについて▽

(1) 毎日の練習について

毎日の練習では、2〜3時間を徹底している。晴天の時は、グラウンドのコート二面で、男女別に練習するが、雨天時の場合は体育館で行ない、男女合同の練習形態をとっている。本校の体育館の使用は過密になっており、近くの市の体育館を利用することが多い。

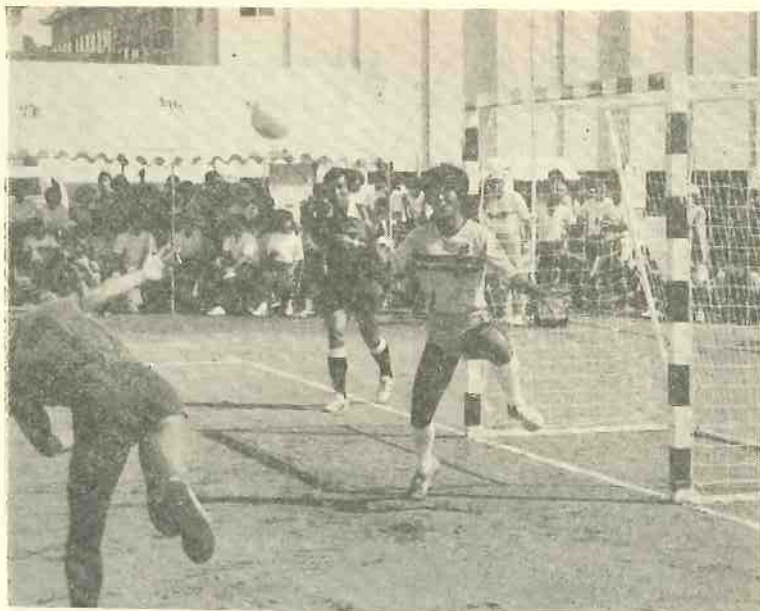
トレーニングになることも多く、雨さえあがれば、学校のまわりのロードワークに切り替える等、走力の確保にとめている。土、日曜日には、近くの小松市立女子高をはじめ、小松高、小松工業、小松商業などの各高校へ出かけ、合同練習や試合などで胸を借りている。谷口先生をはじめ、諸先生方に大変お世話になる等、環境的にも恵まれている。

練習内容については、独自の練習に、いろいろなチームの利点を加える等改良し、工夫している。特に最近では、オールコートを使った練習形態を多くしている。

オールコートでの三対三や四対四、六対六等で走力をつけ、練習そのものを、より試合に近づけるよう努力している。

(2) 合宿について

合宿は、年3回を恒例として行なっている。1月の3日〜6日までの正月合宿、7月のブロック予選前の合宿、8月の全国大会前の合宿がそれである。



1月の合宿では、基本やチームづくりそのものを見直し、チームの特徴を方向づけるよう努力する。

大学生や社会人のOBは、休みに入ると真っ先にかけつけ、親身になって後輩を指導してくれる。彼等の実践で得た経験は、後輩にとっても新鮮で、大きな魅力となっている。この1月の合宿で、チームの骨格がうまくなれば、その年のチームづくりがうまくなる。

当番に学校へ通われるお母さん方には、正月早々御迷惑のかけっぱなしである。そういった父母の協力体制がしっかりしている点が大変心強い。6日の打ちあげの時は、3年生と昼食を兼ねて、新年会を行なう等、楽しい一面もある。寒い時期でもあり、体育館での練習を中心に行なっているものの、天候不順の北陸では、寒暖の差も大きく、健康管理の面で大変気をつかうことも多い。

油断できない合宿で、また、調整の仕方へ気を配ることも多い。

全国大会前の合宿では、参加権を得た事で、精神的にはかえって気持ちが悪くある。全国大会ではリラックスさせ、伸び伸びとプレーさせたいと思っている。

男子は、高校生との練習試合で実戦中心になるが、女子は合同練習で胸を借りる等、基本の徹底に心がけている。

OBも特訓にかけつけ、夜遅くまで現役当時の失敗談や思い出話に花を咲かせる等、後輩にとっておおいに勉強にもなっている。

勉強になる。

そのような中で、一人一人のプレーがより速く、より確実に、よりうまくなっていく。したがって、短期間にチームワークが向上する。

ただ注意を要するのは、勝てば自信となるが、負ければプレッシャーが残り、あとあとチームの立て直しに苦労する。その意味では、遠征前にはかなりチーム力がレベルアップしていないと危険である。チーム力の低下している時は、むしろ遠征せず、じっくりとチームの力がそなわるまで待つ方が望ましいと思われる。

もう一つ気をつかう点は、遠征費もかなりかかり、一人一人の負担も大きくなるので、保護者のバックアップなしではできない。

集団風邪の流行するシーズンでもあり、風邪対策に悩まされるのが常となっている。

ブロック予選前の合宿では、対戦チームを研究し、戦法を立て練習する。

特に女子は、過去3年連続同県チームで決勝を争っており、精神面の強化がより重要になる。互に手のうちを知り尽くしているだけに、本当に厳しい。

一昨年、昨年共に女子の勝ち負けが、あとに続いて行なわれる男子決勝に、ムードの上からも大きく作用することもあり、不安である。一昨年の場合、両方共2位となり、本当に

苦い思いをした。決して

最後の調整でもあり、特に疲労がたまったり、怪我をしないよう選手の健康管理に気を使っている。

遠征合宿については、3年前より少しずつ取り入れ、最近では、11月、3月、5月の連休を利用して行なっている。特に春休みの3月が主体で、男子は東京、愛知大阪等を中心に連戦する。

女子は体力上、愛知方面までを原則として行なっている。

全国的視野を広めると共に、数多くのカラーの違ったチームと対戦することによって、技術の強化を図ることを目的としている。

多摩中の青木先生が、前任校の拝島中を優勝に導かれたのを参考に、私も強化の一つの手段として、取り入れている。全国各地を連戦しながら、一人一人の役割りを再点検し、欠陥を修正できるのが特徴である。

相手チームから学ぶ点も多く、本当に

父母の会等を聞き、十分な理解を得なければならぬし、ある程度の実績がないと計画しにくい。最近では、親の支援も強く、やりやすくなり、ありがたいと思っている。

中学生時代は、大会も高校生に比べるとかなり少なく、新入大会から春の大会までの期間も長く、毎日の単調な練習だけでは、マンネリ化しがちになる。合宿や遠征等で、生徒に次々と目標を変え、興味を与えるよう工夫することも大切だと思ふ。

私の場合、現在このような練習方法をとっているが、まだまだ未熟者で、わからない点や迷っている事も沢山ある。実力のある多くの先生方の指導法や御意見を参考に、常に新しい気持ちで練習に切りかみたいと思っている。

くらし、ひろげる **ジャスコ** のカード



ファッションから食品まで
サインひとつでお買物——。
ご入会手続きも簡単です。お気軽にお申込みください。

会 員 募 集 中



- お支払いもいろいろ
- 月々のお支払いがラクな
リボルビング払い
 - 手数料なしのおトクな
一回払い
 - お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

● 一部地域により取扱っていない
場合もございます。

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。



molten



MTJ 検定球3号
● 検定球 ● 天然皮革



ごらんください。独特のリップ形状とパネ
ル間段差。この“32面体ノンスリップ
構造”で確かな手かかりをつくり出した
モルテンハンドボールは、さらにナイロ
ン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久
性、真球性をも実現して、日本ではじ
めて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)
公認を獲得。ハンドボールの圧倒
的な人気と信頼を集めています。

● 日本ハンドボール
協会検定球(J.H.A.)



● 国際ハンドボール
連盟公認球(I.H.F.)

「手かかり」が見えた!
独自の32面体
ノンスリップ構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール

**モルテン
ハンドボール**

モルテンゴム工業株式会社
本社 広島市西区横川新町1番5号〒733
☎(082)292-1361(代)

第14回全日本実業団男子トーナメント大会 延長の末トヨタ自動車が制す

▽!回戦

2月11日(13日) 上尾運動公園体育館・上尾市民体育館

三景 20 (812 86) 14 豊田自動織機 (愛知)	得【三野】景 3010232081 飼馬園倉村藤山塚藤田 犬中地白奥加藤飯近山	得【豊田白井】 GK 柳山田田勝田宏田古 170000000000402 黒古諫内安城大新大池加	出光千葉 25 (1510 116) 17 日本石油 (山口)	得【光村】久池千保田大浅佐永清佐鶴 0031001046010 村田葉原中島海木石村木岡	得【石井】 GK 迫本 永嶋木村本村 0660000320 古松 福松大北綱田	新日鉄 20 (1010 88) 16 本田技研 (三重)
---------------------------------	---	--	-----------------------------------	--	---	---------------------------------

得【分】 沢満村立田部 南生前 牧 0040107130 大藤財岡足吉安 麻房	得【爽風】 三松山山小柳清船平 0052361003 山下本田川沢水谷子	得【市役所】 丸善石油 (和歌山) 32 (1517 111) 22 中井森本納村田森野木野村	得【金沢】 竹藤金橋中西西北平石池 00110247020006 中井森本納村田森野木野村	得【善松】 丸善石油 (愛媛) 22 (1113 67) 13 日本発条 (神奈川)	得【善松】 丸善石油 (愛媛) 24 (1113 67) 13 日本発条 (神奈川)
---	--	---	---	---	---

得【日清】 塚上川屋 木田野村 1322060100 石井及舛 関々 佐飯藤高	得【丸善】 丸善石油 (愛知) 26 (179 105) 15 豊田合成 (大阪)	得【日鉄】 日鉄建材 26 (179 105) 15 豊田合成 (大阪)	得【日川】 日川岩若素清池古外山杉霜中 004133217401 上嶋本原原辺川山口本村山	得【合美】 合美村田井辺中條原島林竹山 006101440001200 宇梅太花渡昌上須小小有横	得【日本】 力研究所 (茨城) 28 (1315 1510) 25 北自衛隊 (熊本)
---	--	--	---	--	---

得【興亜】 川田本野 達林 治村田野 041102322120 山藤中長松高松中重陳	得【大阪】 福奥岩竹藤新高中山 0067222130040 野田志井内田谷津村崎	得【重機】 笠田野葉藤宮地敷野部橋山 00025220057100 衣吉卯千佐雨福古鷹阿高奥	得【本熊】 田岩 森 田齊入松岩岡佐中鯉 105404201310 本上所江永永崎伯村江	得【日産】 井崎東下田山見木辺毛部呂 000043305505000 酒松板峯上神錦鈴渡襄阿毛	得【古名】 岩服伊阿不蟹平戸上渡大 004133350305 上部藤根破江野次蘭辺島
--	--	--	--	---	--

得【サン】 田下橋 堀田 立 300051220 堀 大 堀 倉尾足	得【七自】 吉佐日小 嶋老原部中崎形吉垣 002132261301 藤野野 嶋老原部中崎形吉垣	得【武田】 棟野山長田宮井川本 383802130 清水 長西杉末吉三酒小川	得【光電】 武田薬品 (山口) 28 (1810 86) 14 日進商会 (神奈川)	得【北電】 城田村原木本藤田崎崎 00001522402 岩原下小稻土加吉宮稻	得【三井】 渡杉田佐森村相中三岡西 005010344100 辺弘中藤重井田村村本
--	---	--	--	---	---

白衛隊員 25 (169 | 18) 13 丸善石油 (千葉)

得000320608060
 吳井堯山賀葉田川田岡
 衛須岩寿安和西岡池村利光
 【坂須】GK 審・金子
 善本 本原端木井 野橋沢
 千本 谷 結城
 九福 松篠川八松 昆高寒
 得0 136000210

神戶製鋼 22 (1111 | 3) 9 日本鋼管 (兵庫) 福山 (広島)

得0 5112292
 戸谷 口藤尾谷内崎家
 【神大】GK 江須中藤河山新
 良 田崎見井井郷上田
 鋼良 GK 審・浅川
 日瀨 村岡辺篠金西井本
 得0 111041100

トヨタ 28 (1414 | 106) 16 住友金属 (愛知) (和歌山)

得000336310
 友坂下家啓崎野田岡秀
 【友坂】GK 審・北井
 得000336310
 住相中松新田山河池西田

▽2回戦 三景 32 (1418 | 66) 12 出光千葉

得0 11200134262
 景田 飼馬園倉村藤山塚藤田
 【三野】GK 審・手塚
 野 犬中地白奥加藤飯近山
 光村川葉原中海石村木岡
 出久池千保田浅永清佐鶴
 得0 020003313003

本田技研 26 (168 | 79) 16 市役所 爽風会

得006125309
 会 宅下木田川沢水谷子
 【爽風】GK 審・中山
 三松山山小柳清船平
 中井村森野本納村田森野野
 金沢 竹藤池金水橋中中西西北石
 得0 0221040226010

日鉄建材 23 (1013 | 126) 18 丸善石油

得002005428101
 鉄 上嶋本原原辺川山口本村山
 【日鉄】GK 審・手塚
 日岩若素清池古外山杉箱中
 善田 川部原村藤木谷野村
 善田 笠 渡辺
 得0 1石岡小木伊佐北神吉

新日鉄 27 (1611 | 89) 17 日本原子力研究所

得0 30315002003
 原藤 池友上村山沢達押原本
 【原藤】GK 審・大出
 佐 菊大川大秋相安砂萩宮
 古上 藤根破江野次園辺水
 名岩 伊久阿不蟹平戸上渡清
 得0 0188313330

本田技研 21 (1110 | 118) 19 大阪ガス

得003504108000
 熊木 上所江永永崎伯村江田
 【熊木】GK 審・浅川
 田 田芥入松岩岡佐中儲益
 大森 田野本志井内田谷津村崎
 得0 038112220020
 福奥岩竹藤竹藤新高中山

三井石油 27 (1512 | 911) 20 武田薬品

得001211643000
 井辺弘中藤重井田村村本
 【三井】GK 審・山田
 三杉田佐森村相中三岡西
 武田 棟野山長田宮井川本
 武清 長西杉末吉三酒小川
 得0 172405010

得0010210601102
 自田藤野藤野 嶋野原部中崎形
 【吉佐】GK 審・浅川
 吉佐日加小 岸海阿谷川尾

得000305224000
 衛須岩寿和西岡池村利安
 吳井堯山賀葉田川田岡
 自トヨタ 24 (168 | 612) 18 製神鋼

得0 300012120
 戸谷 口藤尾谷内崎家
 【神大】GK 審・山田

得000324400123000
 ト玉中広高相近鈴川香久松
 【ト玉】GK 審・山田
 津西田木本藤木田井本永
 三景 014040241020
 田銅島園倉村藤山塚藤田
 得0 04420052213
 爽風会 宅下木田川沢水谷子
 【爽風】GK 審・羽田

三景 27 (1314 | 710) 17 本田技研

得004420052213
 三松山山小柳清船平
 【三景】GK 審・山田
 野犬中地白奥加藤飯近山
 得0 001055121000
 名古屋 上部藤根破江野次園辺島水
 【名古屋】GK 審・結城
 岩服伊阿不蟹平戸上渡大清
 得0 001055121000

これに対し本田はサイドシュートと柳沢のステップシュートで応じる。前半、両チームとも退場を多く出し、やや荒れ気味のゲームとなる。しかし、確実にチャンスをもたらしている三景がリードをとり、スローペースとなった後半も動きが鈍り、ミスをつくり返す本田を突き放し、勝利を握った。

日鉄建材 21 (1110 | 8.7) 15 新日鉄

得004002033900
 鉄 上嶋本原原辺川山口本村山
 【日鉄】GK 審・金子
 川岩若素清池古外山杉箱中
 得0 001055121000
 名古屋 上部藤根破江野次園辺島水
 【名古屋】GK 審・結城
 岩服伊阿不蟹平戸上渡大清
 得0 001055121000

三景 27 (1314 | 710) 17 本田技研

得004420052213
 三松山山小柳清船平
 【三景】GK 審・山田
 野犬中地白奥加藤飯近山
 得0 001055121000
 名古屋 上部藤根破江野次園辺島水
 【名古屋】GK 審・結城
 岩服伊阿不蟹平戸上渡大清
 得0 001055121000

った。

本田技研 24 (1410 | 9) 15 三井石油
北熊本 (1410 | 6) 15 化学

得003704107200
熊木 上所江永永崎伯村江田
田岩 森 (田) 齊入松岩岡佐中儲益

井 辺 弘 中 藤 重 井 田 村 村 本
【三】 渡 杉 田 佐 森 村 相 中 三 岡 西
得001074122000

○：前半15分までは、両チームとも堅い守りで5対5の均衡したスタートとなった。これを破ったのは三井。森重、相田のスピードあるプレーで3点を連取し波に乗れるかと思わせたが、本田も松永のポスト、中村の連続速攻で挽回し1点リードで前半を終了した。本田は、前半最後の勢いを生かし後半開始直後2分で3点を連前してベースをつかみ、その後も斉所佐伯のカットインプレーなどで加し勝負を決めた。

15 (3) PT (2) 24

三井は、17分から村井が奮起しスピードあるサイドシュートを見せたが、時すでに遅しの感を免れなかった。また、左腕を生かすことができなかったのも敗因のひとつであった。

トヨタ 32 (1715 | 8) 18 自衛隊
自動車 (1715 | 10) 18 具

○：トヨタ自動車は、スピードのある速攻、ロング、カットイン

得0102261011803
津西田木本藤木田井本永
ヨ玉中広高相近鈴川香久松

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

14 (3) PT (2) 19

○：前半立ち上がりは両チームとも攻めの歯車が合わずにま一步のところで得点に結びつかなかった。しかし、10分を過ぎると動きがよくなり日鉄の山口の上からのシュートと、三景は犬飼のシュート、また近藤のポストシュートにより両チームとも一進一退のゲームを転回して前半を終えた。後半になるとセットプレーでまさる三景が、うまく得点を重ね少しずつ点差を広げた。日鉄建材は山口に頼る面が多くみられ三景のディフェンスに守りぬかれたようである。また三景のGK野田の好守がところどころ目立った。総合力でまさる三景が勝利をおさめた。

トヨタ 25 (1312 | 13) 22 本田技研
自動車 (1312 | 13) 22 熊本

得000332010700
津西田木本藤木田井本永
ヨ玉中広高相近鈴川香久松

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

22 (4) PT (1) 25

○：前半立ち上がり三景は、地主園の3連続得点で先行、前半10分までに5点差をつける。トヨタは、15分過ぎからベースを取り戻し、香井のサイドシュートなどで得点を重ねるが、前半は4点差までしを迫撃できなかった。後半に入りトヨタは川田のミドル、ペナルティーなどで追い上げ、後半17分遂に同点に追いつき、25分には逆転し28分には2点差をつけたが、三景も驚異の粘りを見せ45秒前に近藤のミドルシュートで同点に追いつき延長に入る。延長に入りトヨタの若さと勢いが爆発し、ペナルティースロー、速攻、ミドルシュートと得点をし遂に三景を突き放した。GK中西の好守が延長に入り光った。

トヨタ 33 (331710 | 11) 21 三景
自動車 (331710 | 12) 21 三景

得0822301430882
田飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

33 (8) PT (5) 31

○：準決勝で惜敗の両チームともやや気落ちした様子が見られたが、ペテラン田上を中心とした本田の方にまとまりが早く出て、気力の充実した好プレーが続いた。立ち上がり本田はペナルティ、コンビプレーなどで着々と加し、対する日鉄は速攻、コンビプレーがかみあわず山口のシャープなプレーで応酬したが、前半ミスの少ない本田が点リード。後半に入っても日鉄は若さが得点に結びつかず、前半同様まとまりのある本田が圧倒し中でも山口のシャープなプレーは印象的であった。ペテラン田上の好リードに

トヨタ 33 (331710 | 11) 21 三景
自動車 (331710 | 12) 21 三景

得0822301430882
田飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

【野】 犬中地白奥加藤飯近山
主 犬中地白奥加藤飯近山

【三景】 犬飼馬園倉村藤山塚藤田
主 犬中地白奥加藤飯近山

33 (8) PT (5) 31



“まごころのおつきあい”が
私たちのモットーです



あなたの銀行

ホッ コク

北國銀行

●本店 石川県金沢市下堤町 ●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店



ブラザー電子タイプライターが
1984年ロサンゼルス
オリンピックの
公式タイプライターに
選ばれました。

Electronic
Office
Typewriters

brother

ブラザー工業株式会社

第1回 顧問会議開かる

財団の運営について論議

ハンドボール界の発展を願う
熱っぽい意見が続出した

財団設立後初の顧問会議が、去る12月10日、岸記念体育館会議室で開催された。

わが国ハンドボール関係者間のコミュニケーションが不足しているという指摘が前々からあったが、それを解消するために、地方協会については全国理事長会議を去る4月に開催し、続いて今回、顧問、参与、日本リーグオーナー、加盟団体代表との意見交換を目的とした顧問会議を開いたものである。

斎藤会長が内閣の財政審議会を中座して来られて、予定どおり午後3時から開会した。

会長の挨拶のあと、出席者全員が自己紹介し、続いて、荒川専務理事が資料に基づいて日本協会の概況を説明し、また、今回のアジア大会におけるハンドボール競技

の初参加でわが国が中国に敗れたことは重大なことであり、今までは違った方法でやらないと、わが国はアジアの中でも大刀打ちでなくなっていくことを強調した。

引き続き、財団運営の最大の課題は財政問題であることから、財団の財務状況について大野総務部長が、資料に基づき詳しい説明をした。その要旨は次のとおり。

(一)まず、財団基金(基本財産)の募金状況は別表1のとおり。
地方協分会未収約八〇〇万円、加盟団体分未収 約七〇万円。
(二)経常収支の状況は別表2のとおりで、昭和57年度予算における経常収入は、ここ2、3年変動の大きい物品売上収入、機関誌収益を除けば約二、五〇〇万円。経常的事業に対する日体協補助金を含めても約二、九〇〇万

円。これに対応する経常支出は、事務的経費だけで約二、四〇〇万円、経常的経費を含めると約三、九〇〇万円になる。

したがって、経常的に約一、〇〇〇万円の収入不足が生ずることになる。昭和58年度の予算も目下策定中であるが、ほぼ同様の数字になる見通しである。

このほかに特別会計事業としてロサンゼルスオリンピックの男女各アジア予選、世界ジュニア選手権の男女各アジア予選と本大会の公式戦があるほか、男女ナショナルチームのヨーロッパ遠征、ジュニア(高校生を含む)の合宿などを予定しており、これらの経費を大会収入や物品売上収入、機関誌収益など特別会計事業収入を充てても約三〇〇万円位は一般会計からの

繰入れが必要になる。

今までは、経費の節減や旧協会から継承金などで何とか賄ってきたが、これから積極的に活動しようとするほど、事務費、事業費とも増加し、積極的に新しい財源を確保しなければならなくなる。

以上の説明のあと、財団の運営上の問題点、とくに財源の確保の点について、要旨次のような意見の交換があった。(文中敬称略)

徳永 結局現在の加盟金、登録料、検定、審査等を値上げするか、物品売上事業を積極的にやるか、寄付金を集めるしか方法がないのではないか。

阿部 基金を更に

倍増させてその果実収入を増額できないか。また補助金を政治的に増額できないか。さらに現行の登録料などの値上げについてもある程度無理を願ったらどうか。参加料等や寄付など大会ごとに集める方法も考えられる。また、支出面で

は、事業費は削減するわけにはいかないだろうから、その他の事務費を「行政改革」で削減する余地はないか。

大野 財団法人化したときの基本金は、会長からとくに声をかけていただいで、新日鉄と大同特殊鋼が各三〇〇万円ずつ、その他の日本リーグ一部加盟企業から一律二〇〇万円ずつ拠出願ったもので、さらにもう一度というのは難しい。地方協会からの未拠出金と日本リーグ二部加盟企業、業者等にお願すれば、倍増とまではいかななくても、ある程度は上積みできると思う。登録料等の値上げについては、現在でも他の競技団体に比べれ

財団募金入金状況 (昭和57年12月10日現在)

区分	募金額	免税手数料	入金額
地方協会	11,856,000	—	11,856,000
38 企業	35,100,000	1,053,000	34,047,000
21 社	3,772,000	—	3,772,000
2 小計	38,872,000	1,053,000	37,819,000
加盟団体	1,330,000	—	1,330,000
4 団体	656,000	—	656,000
理事以上	—	—	—
21 名	—	—	—
合計	52,714,000	1,053,000	51,661,000

(財) 日本ハンドボール協会の財政状況
(経常的収入の状況) (単位 千円)

	57年度予算	58年度予算 (原案)
加盟金	4,350	4,350
入金	17,780	17,540
登録料	9,670	10,000
審査料	5,400	5,400
権利子	2,710	2,140
預金	3,000	4,000
経常的収入計	25,130	25,890
経常的補助金	3,885	3,825
経常的収入	29,015	29,710

(経常的支出の状況)

	57年度予算	58年度予算 (原案)
加事	660	660
盟費	23,403	24,730
務費	9,843	10,800
費費	6,990	7,880
費費	4,020	3,300
計計	1,000	1,000
計計	1,550	1,750
費費	24,063	25,390
費費	4,380	4,880
費費	4,090	2,890
費費	2,116	2,660
費費	4,660	6,600
計計	39,309	42,420
和和	57年度予算	58年度予算
昭昭	の負担金	の負担金
昭昭	は日本	は日本

ば高いという声と、財団になって却て値上げとはという声もあると思うので、よく地方協会の意見も聞いて決めなければならぬと思う。

事務費の節減については、往年と違って、国際大会、外国遠征等の増加、日体協委託事業増加に伴い事務量が激増したのに、事務局は旧態依然だったのを、財団設立後日立栃木のご協力、伊藤同監督に1年間出向して貰って事務局長に専念、その後も同じく日立家電の部長に出向いたでいて事務局を充実した。財団設立発起人会でも、金はかかっても日本協会はやることはやっけて貰いたいという意見があったので、このような措置を講じた。事務局を強化して事業を活

発化するのがあるべき方向だと思ふ。

荒川 財界の寄付は、体協の資金財団が窓口になって一本化されているので、各競技団体が個別に寄付を集める余地がない。

会長 登録料、検定料などの各収入項目を増額できないか。増額できないとすれば、ハンドボールの関係企業が負担し、それでも足らなければ大会ごとに寄付をお願いしなければならぬと思う。基本金をもう一度お願いすることはできない。

阿部 結局受益者負担というか、ハンドボールをやる人が自分で負担していくしかないと思う。ラグビーだって同じだ。ハンドボール人口は一番多いのではないか。一流チームを招待して観

客を集めることだ。

会長 観客動員はいつもお願いしている。強くなれば集まる。とくに東京六大学が強くなければ。

阿部 日体大や筑波大は強くて当然と考えられている。六大学の早稲田と慶応が強くならないと人気が出ない。40年経ってもため息つくのはハンドボールだなあ(笑)身障者なら笹川さんにお願ひできるかも知れないけど、身障者のハンドボールはない。

徳永 アジア選手権大会を日本に誘致する考えはないか。

荒川 アジア地区予選も含めてアジアの大会には補助金がつかないので、参加国が多く経費の嵩むアジア選手権大会の誘致は現状では困難だ。

徳永 アジア大会では中国には敗れたが、中国だって同じ人間だ。

村田 58年度事業計画の中に招待の計画がない。ジャパンカップも56年度に第1回をやっただけ。財源確保という点からいうと逆行している。また、招待国はいつも共産圏だがどうして自由圏から招待しないのかという記者の質問も受ける。

会長 海外に遠征しても普及にはならない。前回ジャパンカップのときは、東ドイツの大統領に直接頼んで特別に遠征の日程

を入れて貰った。ジャパンカップでも、客観情勢が整うのであれば検討してみようではないか。

荒川 招待の方がいいことは事実であるが、会場や受入体制の問題がある。強化と普及の両面から理事会でも検討してみたい。

阿部 OBを対象とした寄付集めはしたことがあるのか。

荒川 財団化のときはその話が出たが実現するに至らなかった。

阿部 40歳から70歳までのハンドボールOBをブロック毎に組織化して、終身会員として毎年年

- 第一回顧問会議出席者 (敬称略)
- 顧問
河島武四郎
(東京在住協会創設時の役員)
- 徳永陸繁(東京在住前副会長)
- 参与
阿部 二郎
(筑波大学協会創設時の役員)
- 全国連盟代表
嶋田新太郎
(全国高体連ハンドボール部長)
- 日本リーグオーナー
大阪イーグルス 村田 弘
大崎電気 渡辺佳英(代理)
日新製鋼 長沼孝雄(代理)
日新製鋼 村上正樹(代理)
立石電機 山越武司(代理)
日立栃木 山中喜作(代理)

をに入れて貰った。ジャパンカップでも、客観情勢が整うのであれば検討してみようではないか。

荒川 招待の方がいいことは事実であるが、会場や受入体制の問題がある。強化と普及の両面から理事会でも検討してみたい。

阿部 OBを対象とした寄付集めはしたことがあるのか。

荒川 財団化のときはその話が出たが実現するに至らなかった。

阿部 40歳から70歳までのハンドボールOBをブロック毎に組織化して、終身会員として毎年年

- 協会役員
- 専務理事 齋藤英四郎
常務理事 荒川 清美
常務理事 総務部長 大野金一
常務理事 競技部長 安藤純光
常務理事 広報部長 北川勇喜
常務理事 財務部長 清水 正
理事 普及部長 大西武三
理事 財源問題プロジェクトチーム 山田 稔
- 強化部長 竹野奉昭
審判部長 岡前義春
会長代行 福田 誠
事務局長 黒田富郎

会費として1万円ずつでも集めたらどうか。

そのための事務局として一人位雇えると思う。危急存亡のときはそれしかない。ラグビーもそうしている。要は自力でやるしかないということだ。

会長 いままで出た意見をもとに事務局で原案をまとめていただいて、それをもとに具体的に進めようではないか。(一同拍手)

以上で2時間半に及ぶ意見交換会を終え、引き続き懇親会を行いました。

三景 吉近正幸(代理)
中村荷役 飯田信行(代理)
東京重機 近藤金博(代理)

昭和57年度 全日本大会の 審判を顧りみて

レフェリーとしての質や 技術の向上の努力開花

日本ハンドボール協会審判委員長

岡 前 義 春

である。ルーマニア20、東独18、韓国15、ユーゴ18、デンマーク13ソ連12である。またバネルB（候補者）もほとんど10名を超えている状態で、やっと日本も人数の面では肩を並べられるようになったのである。

これから技術面の研修を積んで、出来るだけ早い時期に世界の検舞台にてレフェリングすることが今後の課題である。それがためには、アジアにおける審判の主導権を握るべく、IHFに通じる人材を日本から送り出すことが重要であると考えられる。

国際審判員を中心に

さて各全日本大会での国際審判員が中心となって、レフェリーの質と技術の向上に努めた具体的な例につき述べよう。

現在の全日本大会の審判員の構成は、開催地を中心にして経費などの面から、隣接ブロックの審判員で構成されているが、すべてハイレベルの審判員が集合している訳ではない。そこで技術の向上を願って、連盟、ブロック部長から

各大会に国際審判員を何名か隣接ブロック外から参加をさせる策が、出され、これが好結果を生んだものと信じている。国際審判員を中心として、目で見、耳で聞き、相互に謙虚な気持ちで研修をする態度が確立されたことである。全日本

大会に参加したレフェリーの各位の報告の中に、実践に伴う意見の交換が出来、また、疑問点の解明が出来、実際に国際審判員のレフェリングを見るのが可能で、審判員の質と技術について理解見聞が非常に参考になった。これをそれぞれがそれぞれの県内審判員に機会をとらえ伝えること義務であり、一層の研修をしたい熱意がうかがえたことは大成功であった。これが今後の審判技術の向上に役立つことが出来るものと期待している。

全日本総合選手権大会の審判員は、国際審判員が8ペアー中7ペアー参加した。しかもインドで開催されたアジア大会のレフェリーとして参加した光島、佐分両氏の実践報告を聞きながら具体的審判技術の研修を重ね競技の運営が出来た。レフェリーに対するゼスチャーや口頭での誹謗はきびしく規則を適用する。判定に対しては、プレイヤーの立場に立って笛を吹くなど基本的な問題を検討し、審判技術の向上に全員が努力する態勢がとれたことである。

昭和58年度は、一層飛躍の年となることを願い、審判員各位の研修の努力を重ねるよう期待して止みません。しかしながら、審判部門のみで審判技術の向上はなく、競技の指導者、競技者が共に意見交換をしてこそハンドボールの発展があると考えます。

IHFの大幅な競技規則の改正に伴って、わが国では、8月の改正期日を繰り上げて4月1日より、各国の実施に先がけて思い切った競技規則の改正を実施した。

その競技規則も、中央研修会、ブロック研修会、各都道府県の伝達講習会を重ねて、改正の主旨、問題点など次第に全国に徹底した。それから二年目である。その間、55年12月にIHF/PRC委員のエリック・エリアス氏を講師に迎え、改正前の理論と実技の研修、また、改正後の56年12月には、IHF/PRC委員長のカール・E・ワング氏を講師に招いて、問題点の理解を深め、国際審判員の養成のために、体力テスト、実技の

指導を得、併せて国内競技規則の適用について一層の徹底を各ブロック部長の協力によって研修会を通じて円滑な競技運営を計る努力をしたのである。

審査委員を中心に、審判関係各位、競技者の注目を集めた2年目が最良の年度となったことを幸いに思う。過去には、海外での審判実績も少なく、審判員が自己目で好ペアーのレフェリングを確かめる機会もなかったことを、関係者は口を揃えて残念に思ったのであるが、次第に理解を得て海外にも進んで研修に行く雰囲気も出来、その評価も高まった。その経験を生かし、国内でもJHAレフェリーコースの合格者から国際審

判員が誕生する時期が到来したのである。一昨年から続けて、クウェート、韓国、インドでのアジア地区、IHFレフェリークリニックで国際審判員の資格を取得し、現在では15名の有資格者を数えるようになった。その国際審判員が各全日本大会で中心となって全国の審判員相互が、レフェリーとしての質や技術の向上に努力することが可能となったと思う。

しかしながら、国際審判員が関係者の努力によって増えて来たことを、逆に多く取得させ過ぎだという悪評も耳にするが、決してアジアの各国、ヨーロッパ諸国に比して多過ぎるのではない。主な国の有資格者数を挙げると次のよう

日本ハンドボール協会審判部合同委員会記録

日時 昭和58年1月22日(土) 23日(日)

場所 熱海市「新熱海ホテル」
出席者 競技委員長 安藤 審判
委員長 岡前 審査委員

入江 片瀬 佐野 岡本
ブロック長 新橋 由利
清水 加藤 吉田 狩野
河本 岡村 日野
連盟部長 中西 藤田信
柳井

2 ブロック活動報告

北海道(新橋) 2月、8月に審判講習会を開きレフェリーの競技向上、ルール研究を深めた。62年インターハイを控えレフェリーの量、質とも充実させたい。

ルール研究委員 大塚 齊藤 島田 清水 原
△敬称略・順不同▽
司会 佐野和夫(審査委員)

報告 1 昭和57年度審査委員会活動報告及び大会視察報告(入江)

「ハンドボール競技研修会」については別紙資料を参照して下さい。

質問「3回のハンドボール競技研修会参加者数は？」

答 第1回57年8月 インターハイ 鹿児島(隼人) 5名

答 第2回57年8月 教職員大会 群馬(富岡) 17名

答 第3回57年10月 国体一島根(温泉津) 8名

三つの大会について思うことは、審判員の格差が目立つレフェリーが試合会場に来るまでの努力(心

構え)が足りないように思う。(ブロック長の日頃の指導が望まれる。レフェリー推薦をよく考えて適する人物を出す)

九州(日野) 3月、講習会開く。B級テストを地方でやってみたら良かった。(昨年3会場)インターハイの折、控審判もやると食事をとる暇もないと苦情が多く出た。

3 連盟部長報告

高体連(中西) 選抜(57、3、名古屋) 学年末で審判員の転任などで混乱した。インターハイ(8月鹿児島)、国際審判員が3ペアも来て、大変好評であった。次期開催県のペアにも来てもらった。九州ブロック長から話しはあったが、控審判員のあり方を今後の課題にしたい。

学連(藤田) 各ブロック大会は、その地域にお願いし実施している。ゴールキーパーに直接シューとした場合、直ぐ退場にしていく。(顔面に直接当たった場合)事故防止の為、学連内規として、教職員(柳井) 大会に不慣れでとまどいを感じたレフェリーもいたので、信頼出来る人を出して欲しい。

4 その他

た。鳥取国体を控え準備で大変だ。B級審判員の向上を望む。

四国(河本) 2月、香川で講習会。7月四国大会、8月国体予選の折、各県よりペアを集め研修を重ねた。

九州(日野) 3月、講習会開く。B級テストを地方でやってみたら良かった。(昨年3会場)インターハイの折、控審判もやると食事をとる暇もないと苦情が多く出た。

議事

1、昭和58年度事業計画および予算案
予算案は原案(別紙)が岡村委員長より示され、説明がなされた。

原案通り総額¥2,660,000
0 決定(昨年¥2,166,000)
意見として、「審判員のレベルアップは選手の技術向上にもつながる大切なものだ。レフェリーの海外研修をもっと積極的にやって欲しい。」「A級の試験会場も地方で出来ないか」

2、昭和58年度ハンドボール競技研修会
8月8日(日) 奈良(生駒市) 教職員大会 担当者 藤田、岡本
10月17日(月) 群馬(富岡市) 国体 担当者 片瀬 佐野
3、公認審判員ブロック研修会

北海道(3月札幌)、東北(未定)、北信越(3月長野)、関東(3月東京)、東海(3月名古屋)、近畿(未定)、中国(3月徳山)、四国(2月徳島)、九州(未定)

前期: 3月28日(月)、29(火)、30(水)
後期: 8月23(火)、24(水)、25(木)いずれも東京で行う。
5、昭和58年度A、B級公認審判員テスト
A級 6月、東京 B級(電)6月下旬東京 (中)6月11、12京都 (西)5月15、16大分

原案ではB級は東西2会場で行うとなっていたが、昨年同様3会場で行って欲しいとの強い要望があり上記の3会場に決定する。日時、場所が決定次第、協会から本人宛に通知する。
6、全日本大会審判員割当
別紙の通り決定。ブロック長は3月10日までに協会審判委員長宛に、正式名簿を送付すること。国際審判員パネル候補者を出して下さい。ブロック審判長が推薦する。

7、レフェリーコース受講者の処理について
前期3日間、後期3日も受講しているながら残念ながらB級には合格しなかったが、その技術に応じて処理してあげて良いのではないか。

C級に相当する者は各ブロックへ届ける。D級はとらせるように都道府県協会に連絡し処理する。

8、レフェリー、トレーナーシンポジウム派遣について

5月19日、23日、西ドイツで行われる。日本ハンドボール協会より光島磯雄氏を派遣する。

9、審判員ワッペンについて

ルール研より「従来の公認審判員の日の丸のワッペンは古くなった。全国大会に出るA B級はC D級と区別して良いのではないか」との案が出る。C D級については従来通り(当分)決定、従来の「日の丸」ワッペンと異なり、A B級のプレーヤーに着けていたような型とする。赤色の台にする。A・B級と多少違うようにする。月桂冠の葉の部分の色をかえる。

10、控審判員と記入用紙
今年のインターハイでも多くの苦情が寄せられたが、正規の審判員がレフェリーをし控審判も行うと拘束される時間が多くなり食事もとれないという事だ。本来タイムキーパーが行うべき事を、信頼してまかせられないから、審判員が控審判もやっているのが現状である。将来はタイムキーパーを出来る者を養成し控審判制度を廃す方向に検討すべきである。

現段階では2人の控審判を1人とする。全国大会などのような大きな大会ではタイムキーパーとし

て公認審判員を別に当てる。(級にはこだわらない)

戦評は必要ないのでは、という意見も多く出されたが、報道機関へのサービスもあるので、続ける。

タイムキーパー記入用紙—原案(別紙)のものを作成する。英語は日本語に改める。4月より使用。11、その他

1、審査員報告(入江)

58年度A B級受験者 書類審査の結果 A級17人 B級33人 申請には所定の用紙を使用し

て欲しい。
58年度も昨年同様、3つの目標を挙げ徹底を計りたい。

① ラフプレーをなくそう。
(クリーンなハンドボールをめざす)

② C R、G Rの任務の確認。
(ペアのコンビが大切である)

③ レフェリーは体調を整えて選手とともに走ろう。(最も見守は位置をとることが大切)

全中大会はC級でも良い事になっていくが、各都道府県協会は審判員養成につとめて欲しい。

2、申請書について(岡前)

申請書は本籍地等 unnecessary 部分もあるのを改良する。従来の申請書(写真添付)はD級のみに

使用する。
上級申請はA、B級はブロック推薦書+手帳、日本協会へ
C級は、都道府県推薦書+手帳
D級については従来通り 申請書
都道府県、日本協会へ
(清水正) B級申請にはブロック大会を経験しなければならぬかと思う。B級申請の為、無理してブロック大会を吹かせる為、ブロック大会の運営、レフェリーのレベルダウン等の問題がある。それにB級には厳しいテストもあるのでブロック大会経験をなくしても良いのではないか。
結論—やはり従来の規定のままとする。

使用する。

上級申請はA、B級はブロック推薦書+手帳、日本協会へ

C級は、都道府県推薦書+手帳
D級については従来通り 申請書
都道府県、日本協会へ
(清水正) B級申請にはブロック大会を経験しなければならぬかと思う。B級申請の為、無理してブロック大会を吹かせる為、ブロック大会の運営、レフェリーのレベルダウン等の問題がある。それにB級には厳しいテストもあるのでブロック大会経験をなくしても良いのではないか。
結論—やはり従来の規定のままとする。

但し問題を少なくする方策として次のようにする。
ブロック大会とは複数の都道府県が集まって行う試合を指す。各地域の学連大会もブロック大会と認める(従来も認めていたところもあったが、今回確認する)

全国中学大会、高専大会、自衛隊、クラブ大会、それに東日本学生大会、西日本学生大会も全国大会とする。(但、従来通りC級も吹ける)

3、国際審判員の活用について
(中西) 日本協会が主催して、

優秀な国際審判員を集めて笛を吹いてもらいたい。レフェリーの研修の為にぜひ実現して欲しい。

(岡前) 早い機会に年に一度くらい実施できるように考えたい。
4、マツヤニ使用の件
(中西) 日本協会ではマツヤニを禁止していないが、インターハイ等の高校生にも使用させて良いものか。従来は教育上の事もあるので禁止していたが、技術向上の為使用させて欲しいという意見が多く出ている。

(岡前) 基本的には従来通り。体育館等の施設で支障がなければ使用させて良いのではないか。各連盟で大会毎に規定すれば良い事だ。マツヤニの成分、副作用等については業者も不明との事である。

5、審判員の帽子について
(中西、日野) 今年の鹿兒島インターハイで、頭髪の薄いレフェリーが、炎天下、気の毒であった。帽子をかぶらせても良いか。

結論—基本的には望ましいものではないが、その大会の運営上の事であり、競技に支障なければ審判長の判断で使用させて良い。サンクラスも同様。
6、ゴールキーパー
のマスクについて
(藤田) 学連ではキーパーの顔

面負傷が目立つ。
結論—危険防止のマスク、メガネ等は、他人に危害を与えないものであれば状況に応じて許可して良い。(I H Fでも検討中である)

7、ハンドボール競技研修会について
参加者が少ないのは残念である。—日程等を考慮し多数の者が参加できるよう検討する。

8、終身審判員(金バッチ)について
(岡前) 金バッチ製作に手間どり大変遅れて申し訳けなかったが、昨年5月発送した。ルールブックにも載せ、手続方法などはっきりさせる。認定書なるようなものを発行する。

9、その他
近年応援者も多くなってきた。インターハイ等でやる時は応援席を設けたら良い。

以上

昭和57年度(57年4月1日)58年3月31日)の(財)日本ハンドボール協会公認球として、次の会社のボールを認定しましたのでお知らせ致します。
埼玉県狭山市入間川1丁目15番40号
入間川ゴム株式会社

週に一度はスポーツを

健康づくりは毎日の快眠・快食から…
それに適度なスポーツも
欠かせません。
私達は皆様の健康を願って
薬品づくりに努めます。



この看板のお店でご相談ください。



滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB₁・肝臓分解エキス・ビタミンB₁₂配合

キョーレオピン

●薬用人参・牛黄・ビタミンB₁・にんにく抽出エキス配合

レオピンファイブ



湧永製薬株式会社

本社 〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号

TEL(05)458-8901(代)

中央研究所 〒720-64 広島県高田郡甲田町大字下甲田1624

広島工場 TEL(082645)2331

Victor



ソフトボールこころを満たす

NETWORK

昭和56年度
通産省選定グッドデザイン商品



システムカラーテレビ
20型 AV-20 ¥210,000 (リモコンを含む)
(アンテナ・工事費別)

■3系統の映像入力端子を装備■高解像度350本のくし形フィルター採用■消費電力:97W (リモコン待機時3.7W) ■外形寸法:横幅62.2cm(リフレクター取付け、最大開口時75.8cm)、奥行48.8cm、高さ48.3cm(脚含む) ■重量:27.3kg(リモコン送信機含む)

●Victorへのお問い合わせ、カタログ請求は(〒100)東京都千代田区有明3-2-4 森山ビル 日本ビクター副インフォメーションセンター<TEL東京03-580-2861>へ、<ビクターローン>のご予算を生かしたゆとりあるプラン……ビクターローンシステム(銀行ローン、ヒプラン)をご利用ください。ボーナス時増額返済も可能です。

コートに出ると仲間とのわだかまりが
消えてしまおう、不思議だなあ。

きのう、ちよつとしたことでチームメイトと心のわだかまりを残してしまつた。でも、一度コートに出ると、そんな心はいつの間にか消えていた……。こんな経験、あなたにはありませんか。チームワークって素晴らしいものなんでしょうね。ピクチャーのニューカラー(ネットワーク)も、鍛えぬかれたシンプルなボディの中に、ビデオ・オーディオ機器との絶妙なチームワークと限りない発展性を秘めています。たとえばビデオデッキやビデオカメラ、ステレオなどのシステム化、さらにビデオアィスをはじめキャブレーションシステムやホームコンピュータなど新しい映像ソースを自在に楽しむ新技術など。我れらのハンド仲間にはぜひ加えたい。

先進の個性

◆第9回アジア大会に参加して

—怒らず、あわてず、争わず、諦めず—

レフェリー 光島 磯雄

佐分正典

一九八二年第9回アジア大会にハンドボールが正式種目として加えられることとなり、多くの人々から期待を寄せられ、日本選手団第3陣と共に私達二人もレフェリーとしてその使命を重く感じつつ成田空港を出発したのは、11月16日9時30分であった。飛行時間約10時間、途中バンコクで休憩しニューデリーに着いたのが夜、現地時間21時05分。空港でああでもない、こうでもないの問答のやりとりの果ては宿泊ホテルに指示され他種目のレフェリー諸氏とホテル・ロビーに入ったのが夜半過ぎであった。空港では、日本協から先着で現地入りしている福山氏が開口一番「何事もこれから、インド式になるように、決して怒らず、あわてず、争わず、そして諦めず、が肝心です」の言葉で始まる説明をうけたが、このことは毎に時間の経過と共に実感として理解した。

これらのことは、たとえば大会中に個々が行動するとき必須なIDカード(身分証)の入手手続、レフェリーミーティング、担当レフェリー割当の受領、スコアシートを受領等、すべて自分から進んで交渉連絡し要求をしなければ、全然といっても過言でないくらいわからない羽目となり、外国から来た役員・レフェリーはインドの不幸にただ呆れていた。ホテルには専用のインフォーマイションが置かれ、係が常駐していたが、これも開会式の当日までは全く西も東も定かでない我々は、オンボロタクシーに乗り、あちらこちらと訪ねまわらざるを得なかった。

インドは、歴史的には誠に古い伝統を持つ国であるが、その地域は南北、東西ともに広大で、自然の様相、言語、文化、人種、宗教も多種多様で、その多様性がそのままに現れている状態で国が存在しているといわれている。「さまざまなもの」と「国としての統一」がインド的世界であり、これが重複しあっているところに国柄が現れているとしか思えぬ場面は随所に見られた。誰もが知っている貧富の差の極端さは、蒙邸とスラム同様の集落、科学の進歩を示す先端的文明と膨大な文盲人口と識字率など百聞は一見にしかずの感を深くした。

アジア大会という国家的行事についても、このインドの国民のどの位の割合が理解しているものなのか、これはラッシュの中を専用車で通りぬける我々外国人の車相見方であるが、11月19日午後3時、アジア大会開会式がネールスタジアムで定刻に行われたが、カメラの使用禁止という理解に苦しむ取締りのなかでは興味も半減したという雰囲気、参加35カ国の入場行進を主体としたセレモニーを見ても、日本は真に模範的態度、他国は入場後ばらばらの状態で芝生に座り込む、雑談をする、象の写真を書しに行く、などを見るとそれぞれの国柄がわかるような気がする。

ハンドボール部門では、11月22日レフェリーミーティングを皮切りにプログラムが開始された。11月22日(月)レフェリーミーティング 15時 デリー大学 出席者 I H F から パウル・ヘクベルク 会長、リッケンバーガー理事長 カール・E・ワング 審判委員長 A H F から ハッサン理事長 インド カポール会長 レフェリー 日本、クウェート、パレーン、韓国、アラブ連合、インド(2ペア) 計14名 インドのカーン理事長の挨拶のあと、I H F カール・E・ワング氏がこの大会の意義、各国レフェリー紹介、ルール上の問題点、質疑応答があり、約1時間半で終了した。その後ハッサン理事長より初日のレフェリー割当発表があり、書類にサインをすることで確認をした。

11月23日(火) 9時 日本 35-19 U A E 技術的な差は大きく、日本のワ ンサイドゲームに終わった。 14時 中国 28-16 パレーン

光島・佐分担当 中国の体力が勝り、力の差がはっきりしたゲームであった。 11月24日(水) 9時 クウェート 36-17 インド パレーンレフェリー担当 クウェートのテクニクが勝ったゲームであった。インドの健闘が目立った。 14時 韓国 32-18 サウジアラビア クウェートレフェリー担当 韓国のスピードがサウジアラビアを圧倒した。 11月25日(木) 9時 韓国 34-24 パレーン インドAレフェリー担当 韓国のスピード、テクニクの勝利。 10時30分 中国 21-19 サウジアラビア U A Eレフェリー担当 中国、パワーの勝利。 14時 クウェート 29-19 U A E 韓国レフェリー担当 クウェートのパスプレー、テクニクがU A Eを圧した。 15時30分 日本 26-12 インド パレーンレフェリー担当 後半、日本の実力が発揮され勝負を決めた。 11月26日(金) 9時 サウジアラビア 15-14 パレーン 光島・佐分担当 サウジアラビアの粘りが、パレーンのミスをさそった、サウジ



日本のレフェリーの技術は高い

試合開始からスピードのある好ゲームで、五角にゲームは展開した。後半、韓国を日本が拾って勝敗を決めた。

15時30分決勝リーグ
中国28―24クウェート

レフェリー担当
中国は手堅いゲームはこびでクウェートに隙を与えなかった。

11月29日(月)休養日
アグラのタージマハール見学

アラビアの逆転勝ち。

14時 日本25―20クウェート

レフェリー担当

日本にとって第一関門のゲームである。始めから積極的に攻め後半のクウェートの追い込みをよく押えた。

11月27日(土)

9時 中国29―28韓国

クウェートレフェリー担当

中国は韓国のスピードによく追いつき、よく粘り、後半韓国のミス拾って一気に勝負を決めた。

14時 U A E 33―28インド

光島・佐分担当

インドはよく健闘したが、荒い

ディフェンスで自滅した。

11月28日(日)

9時

サウジアラビア34―28 U A E

インドレフェリー担当

互いに相つらずに好ゲーム。後半20分 U A E の選手に赤カードが出されたあと、サウジアラビアは一気に勝敗を決めた。

10時30分

レフェリー担当

インドは、負傷欠場でメンバーバを欠き、ワンサイドゲームに終わった。

14時 決勝リーグ

日本21―20韓国

クウェート

レフェリー担当

試合開始からスピードのある好ゲームで、五角にゲームは展開した。後半、韓国を日本が拾って勝敗を決めた。

15時30分決勝リーグ

中国28―24クウェート

レフェリー担当

中国は手堅いゲームはこびでクウェートに隙を与えなかった。

11月29日(月)休養日

アグラのタージマハール見学

11月30日(火)

最終日になって変事が起った。

これは真に西アジア的であり、今回の大会の特質の一つをあらわすものと思われ、合せて記しておくことにする。11月30日(火)8時30分、会場に到着し観戦の位置につこうとしていたところ、突然レフェリー割当係から韓国対クウェートのゲームを担当するように、と知らされた。前々日の試合終了後30日のレフェリー担当の有無を彼に確認し当日は「フリーである」との答えをもらいそのつもりでいたところなので、急遽ホテルに装具を取りに帰り再びコートに来たところインド A ペアが担当することになっており、あまりの馬鹿々々しさに腹立たしく事情説明に来たハッサン氏に「RIDICULOUS」を連発して忿激の意をあらわしたが、ハッサン氏は、「誠にすまぬ」の一点張り、

「諒解してくれ」と頭を下げるので深く追いこむことを止めた次第である。後刻聞いたところでは、韓国クウェートのゲームにインドレフェリーが当てられていることを知って、どちらかの国が不満を述べたことが原因となっているらしい。このようなことは、その時点で却下すべきで、「TECHNICAL REGULATION」があるにもかかわらずレフェリー割当がぐらついたための不手際といえよう。し

かしながら、あの場合バタバタと用意してぎりぎりの時間に間に合ったとしても、常識的には100%完全なコンディションで吹笛することが果たして可能であったかどうか、我々にも考えさせられたことでもあった。

10時 3位決定戦
韓国32―22クウェート

インド A レフェリー担当

前半互いに得点の取り合いになったが、韓国は速攻で一気に引き離し16―9で前半を折り返した。後半ラフプレーがクウェートに目立ち、韓国の速攻を更に許した。

14時 決勝戦

中国24―19日本

力のこもった好ゲームであったが、立ち上がり日本の動きが悪く前半1点を争う展開となった。後半、日本のエース蒲生が徹底的にマークされ、うまいディフェンスで中国が守り切り中国が初勝利を飾った。

日本の積年の念願であったアジア大会での金メダル獲得は、新興中国のパワーハンドボールによりアジアの王座を失なうという結果となり、日本ハンドボールは再び原点に立って再建を思考すべき時期が到来したといえよう。口に合わない食事や飲料水に用心することなどで連日悩まされ、市内の交通状態の無秩序さに驚き続け、すべてに考える物差しの違う西アジ

実績と信頼の公式試合球

イールマボール



ALL OVER THE WORLD
IRUMA
ハンドボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社
東京・埼玉・大阪・名古屋

ア人との交際は真に有意義であったと思う。私達も本大会の成功に一役担ったものと確信しつつ12月2日22時32分、無事成田空港に帰着した。

☆アジア大会の雑感☆

会場のデリー大学は、ニューデリー市中心地から地方へ30km程離れたところにあり、構内はたいへん緑に恵まれた環境の良いところで、この中にグラウンドにタラフレックスを敷きつめて（これはクウエートの寄付によるもので67、000ドルだそうです）あり、これは適度の硬さで表面も滑らず良好なコンディションを保っていた。

競技運営は、A H F ハッサン氏、インドのカポール氏、カーン氏、ヤシン氏、そしてI H F のカールワング氏、渡辺和美氏により進行されていた。毎日試合は2〜4試合が行われ、私達は昼食をとりホテルに帰っている午後7時の試合を見られなくなるためいつも会場内の食堂で、あやしげな焼きそばでごまかさざるを得なかった。

ドーピングテスト、メンパー提出、トス、服装検査などは時間通りに行われたが、始めの2日間は、ハーフタイム10分間が西アジアのチームはルーズで12〜15分にも及ぶことがあった。このことについては、全てレフェリーが責任

を持って守らせるようすべきである、とカールワング氏から直接注意を受けた。もし規定を守らなかったチームが勝ったら抗議の原因となりかねないからである。

電光掲示板は、日本製品により完備されていたが、これ等の機器は大会終了後、日本に送り返されることとした。日本ではこの会場にもある床拭モップが用意されておらず、汗や血でよごれたとき拭きとるのに毎度時間がかかった。負傷者が出ると処置や手当をコート内で行うので、中断の間がややもすれば長くなり過ぎることがあった。使用球は、日本のミカサボールで、終始3コを用いるのみであった。ハーフタイムと終了後のレフェリーメモと記録係のスコアシートとの照合は常に行われたが、記録係の方のミスが時々見られた。時間管理の面でも30秒以上も長くなったこともあり、ワング氏、渡辺氏といったI H F のお歴々がウォッチを握ってタイムキーパーになる始末もあった。

☆アジア大会

各国レフェリーの様子☆

今大会では、7ペアのレフェリーで18試合を消化した。クウエートやパレーンのペアは、早い動きについての判定には一定のものがあったが、ペナルティーやチャ

ージング、ブロッキングの判定には少なからず疑問をいだかせることがしばしばあった。韓国のペアの判定は非常にムラがあり、ある時は非常にきびしいかと思うと、次にはルーズになり、その吹笛音そのものも普通のものでなく、P、P、P、ピビビ、の連発で聞き苦しくまた見苦しかったと思う。アラブ連合インドのレフェリーは、接触プレーや早い動きに馴れていないせいもあるのか、とまどいがみられる有様で、プレーヤーが不信感を持ち判定に不満を示したため赤カードを出される状態にまでなってしまった。

☆I H F パネルAの課題

この度私達は、アジア大会ハンドボール部門のレフェリーとして参加の機会を得て、またと得られない幾多の体験と勉強をすることができた。オリンピック大会、世界大会と同形式で、それがインドという未知の国で事前に細部の連絡もほとんどないままにインドに入国した。そのとき最も困ったのは、プログラムは愚か印刷物すら用意されておらず、それに代るものを求めるにも手間暇がかかったことである。全て所要の機関へ直接足を運び、口と耳で意志を交換し、計画、行事、日程等を知り、その方法を理解しなければならなかったのである。このことから

も、パネルAの者は勿論のこと、今後それを目指す者は、審判技術の研究は当然であるが、意志交換の手段である外国語（英、独、仏）を常に音声をもって表現し、インスタンドであっても意志の相互交換のできる能力を養成することが必須であることを強調したい。

今回の見聞体験によって我々日本のレフェリーは、技術的に決して劣ったものではなく、世界に通用するものであることは確認した次第であるが、国際場裡においては、レフェリー術だけではこれまた通用しないことも確認したのである。故に、外国語による説得能力、交渉能力が必須であり、平然とできる度量が外国人との対話、交際、人間性を積極的を示すことなのであると信じている。将来日本のレフェリーがオリンピックや世界大会にノミネートされるためには、絶対に必要不可欠のものであることを重ねて強調したい。

少なくとも現在のパネルAの方は、自己研修をすすめることが責務である。アジア大会のミーティングのとき、韓国のペアが英語に弱いことで自国人の通訳を同席させたところ、ワング氏から指摘をうけ室外に退去させられたことがあり、この点にもI H F パネルAに対する姿勢には、はっきりとしたけじめがうかがえた。

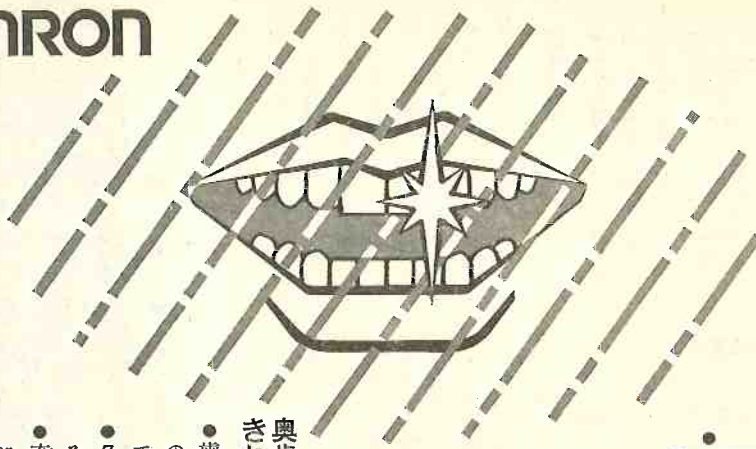


同

大同特殊鋼

本社：名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)
TEL名古屋(052)201-5111(大代表)千460
支社：東京 支店：大阪

OMRON



「歯」キリキリ

シャワーで二日の汗を流すように、
菌のよごれを落としてシェイプアップ!!

ジェット水流が
歯と歯ぐきを
守ります。

● ジェット水流が歯ぐきの健康に
よい適度な刺激を与えます。

● 食べカスを洗い流し、口臭を除きます。

● 水流はゆるくも、強くも調整できます。

奥歯も歯ウラもきれいにみがけます。

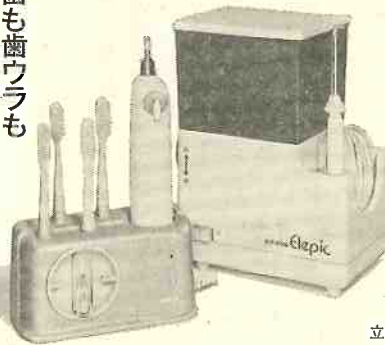
● 歯医者さんおすすめの、正しいみがき方ができます。

● 7倍の速さでみがけるローリング式です。

● 充電式だから、旅行にも便利です。

● 歯みがきの時間のわかる砂時計つきです。

オムロン 電動歯ブラシ
エレデント
HT-B10 ¥5,950



オムロン 口腔洗浄器
エレピック
HT-J11 ¥14,500

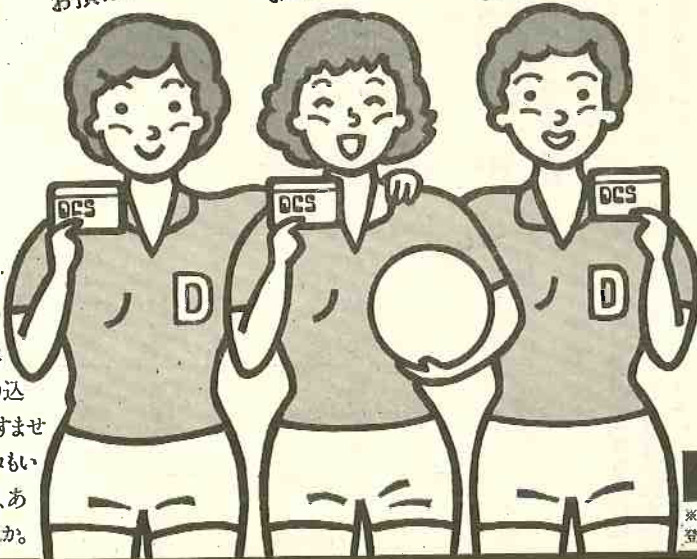
立石電機株式会社 〒616 京都市右京区花園土堂町10

便利です。ダイワキャッシュカード。

お預け入れに...

お引き出しに...

お振り込みに...



ダイワキャッシュカード1枚で、現金のお預入れ、お引き出し、ダイワ本支店や他行へのお振り込みなどがスピーディにすまされます。通帳もハンコもいりません。ハンディな1枚、あなたもお持ちになりませんか。

あなたと明日を

預金も 信託も...

大和銀行

※他行へのお振り込みは、あらかじめ登録が必要です。

特別レポート

神奈川県高等学校における ハンドボール実施状況

神奈川県立金井高等学校 設楽孝治

1 目的

昭和57年度より、指導要領改定に伴い新指導要領が実施されたわけであるが、神奈川県高等学校において、集団的スポーツのハンドボールが改定前と改定後、教科体育でどのように採用されているのか、また、学年別、男女別、配当時間等を調査してみた。

2 調査方法

神奈川県高等学校、公立、公立定時制、私立高校を対象にアンケート方式により調査した。

表1

	学校数	回収数	回収率(%)
公立	147	126	85.7
私立	67	47	70.1
定時制	25	19	76.3
計	239	192	80.3

3 調査結果

アンケートの回収率(表1)は、全体で80.3%とかなり高率であった。

56年度における教科体育でのハンドボール実施状況(表2)は、公立高校73.8%、私立高校44.7%、公立定時制では10.5%であった。この結果で、想像していたより実施校が多いことがわかった。

表2 昭和56年度ハンドボール実施校

	している		していない		合計
	数	率	数	率	
公立	93	73.8%	33	26.2%	126
私立	21	44.7%	26	55.3%	47
定時制	2	10.5%	17	89.5%	19
合計	116	—	76	—	192

表3 昭和56年度 学年別・男女別実施数

	1年		2年		3年		4年		合計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
公立	34	43	77	31	41	72	18	23	41	—	83	107	190		
私立	4	6	10	4	8	12	1	4	5	—	9	18	27		
定時制	0	0	0	1	0	1	1	0	1	4	1	5	6	1	7
合計	38	49	87	36	49	85	20	27	47	4	98	126	224		

それでは、学年別、男女別実施数(表3)、さらに配当時間数(表4)をみてみると、学年別では、1年生で87校、2年生で85校であり、3年生になると約半数の47校になってしまふ。男女別では、男より女子の方が定時制を除いて多い。配当時間数は、6〜20時間

表4 昭和56年度配当時間数

時間数	5以下	6〜10	11〜15	16〜20	21〜25	26以上
公立	3	36	74	37	17	13
私立	1	5	10	2	1	4

が多かった。次に、昭和57年度指導要領改定数に県内の高等学校での採用種目(表5)をみてみると、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール、サッカー(男子のみ)について、実施されている。

表5 昭和57年度採用種目

(1) 集団的	スポーツ	イロハニホ	公立	私立	定時制	採用率(%)		
						公立	私立	定時制
(1) 集団的	スポーツ	イロハニホ	82	17	3	65.1	36.2	15.8
			117	44	19	92.9	93.6	100.0
			120	44	19	95.2	93.6	100.0
			106	21	17	84.1	44.7	89.5
(2) 個人的	スポーツ	イロハニ	53	8	3	42.1	17.0	0
			104	34	16	82.5	72.3	84.2
			92	30	13	73.0	63.8	68.4
			83	18	10	65.9	38.3	52.6
(3) 格技	イロ他	イロ他	121	38	17	96.0	80.9	89.5
			35	9	9	27.8	19.1	47.4
			88	10	9	69.8	21.3	47.4
			1	1	3	0.8	0.8	15.8

4 考察

今回、神奈川県高等学校におけるハンドボール実施状況を指導要領改定にともない、昭和56年度と57年度においてアンケートにより比較調査したのであるが、昭和57年度指導要領改定後では、ハンドボール採用が改定前の約半数に減っている。これは、指導要領改定の主旨である種目の精選により、集団的スポーツでは、バレーボ

表6 昭和57年度 学年別・男女別実施数

	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
公立	21	27	48	12	17	29	7	8	15		40	52	92		
私立	1	2	3	2	4	6	1	0	1		4	6	10		
定時制							1	1	2	2	1	3	3	2	5
	22	29	51	14	21	35	9	9	18	2	1	3	47	60	107

ル、バスケットボールが多く採用されたためである。
 このことは、これからのハンドボールの普及、強化対策を考えて行くうえで大きな課題を残している。ハンドボールは、水泳、体操、バレーボール等と違い学校教育の場以外では、経験させる組織がほとんどない。
 現在高校1クラスで、中学時に教科体育でハンドボールの経験が

ある者は2〜3名という状態であり、ほとんどが高校で初めて経験する者ばかりである。そのため、初心者のための指導法、特に女子に対する指導法に創意工夫が必要である。また、配当時間が15時間位では、ハンドボールを理解するまではゆかずに終わってしまうのが普通である。

図2 昭和56年度・57年度実施校の比較(女子)

— 公立 56年度
 - - 公立 57年度
 ○ 私立 56年度
 ● 私立 57年度
 ○ 定時制 56年度
 ● 定時制 57年度

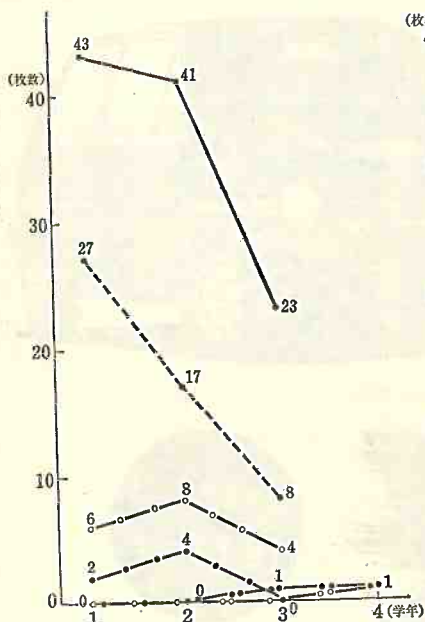
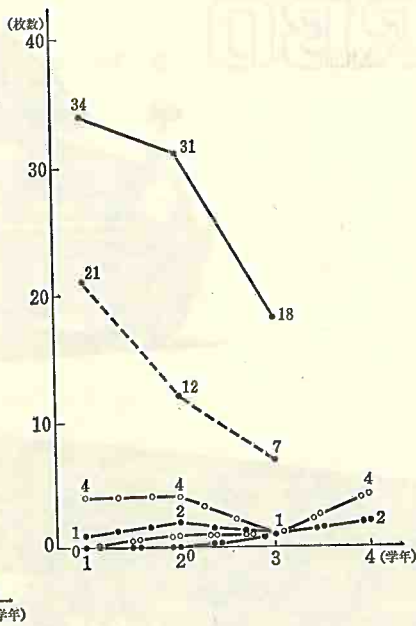


図1 昭和56年度・57年度実施校の比較(男子)

— 公立 56年度
 - - 公立 57年度
 ○ 私立 56年度
 ● 私立 57年度
 ○ 定時制 56年度
 ● 定時制 57年度

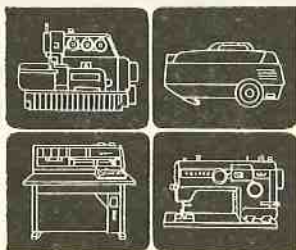


これらの問題を解決するために、今後の課題として次のように考える。
 (1) 小学校、中学校での普及活動
 ・ハンドボールの専門者でない指導者が気軽に指導できる指導教本の作制。
 ・ミニハンドボールのルール制定。

・ミニハンドボールの確立とミニハンドボール大会の開催
 ・小学校、中学校における講習会、研修会の開催。
 (2) ボールの硬軟と大きさの工夫
 以上の事柄が考えられると思う。高等学校における指導要領改定を機に、普及対策について考えてもよいのではないかと。

マシンから...
 エレクトロニクスまで

工業用マシン・家庭用マシン・電子機器
 編機・家庭電気製品・縫製附帯機器



ミユキ

東京ミユキ工業株式会社

営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
 電話03(203)8241(大代表)

フットワークはフォーメーションから生まれます。
だれが駆けても、

シティは、スポーツマン。

CITY TURBO



二人なホットな出来事は、はじめて、シティが、またまた感度をアップしました。世界初のFF1.2iハイパーターボ搭載です。爽快な瞬発力。一気に攻めのはるダイナミックな走り。驚くほどの低燃費。これこそホンダの考えらターボだ。どの自信をみながら、いま圧倒的な速さでシティターボが駆けだしました。時代がピンピン反応します。ネットワークがさらに広がります。ライヴです。衝撃的です。シティターボです。ことし、最大のニュースです。

FF1.2i

100馬力ハイパーターボ登場

ターボ車ナンバー1
10モード燃費
18.6km/ℓ



HONDA

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所

勝利の伝説シェvronラインは最高級品の証。

*“Chevron-Line”
ist der Beweis
höchster
Qualität.*



勝利をめざすなら、選ぶべきだ!

—— 無言の威圧感を与えるヒュンメル ——

DOUBLE
SCORE

総発売元 株式会社ダブルスコア / 総代理店 大松貿易株式会社
大阪市南区難波新地3-27プリンスビルB1 〒542 TEL. (06) 213-6646

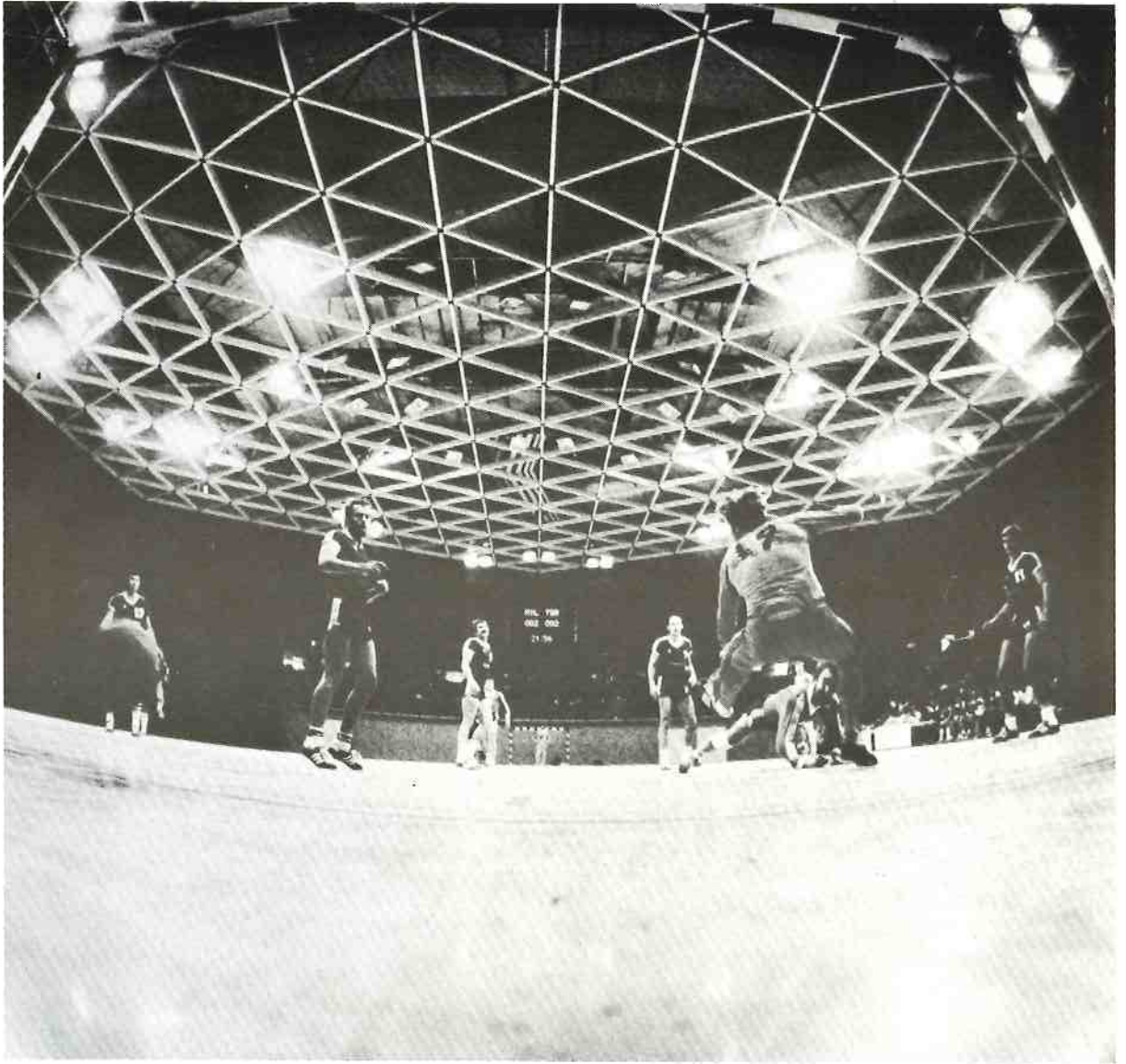
(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二六号

昭和四十年一月一日
昭和五八年二月二十五日
印刷
昭和五八年三月一日
発行
第三種郵便物認可

都渋谷区神南一丁目一七番
編集兼
振替 代表 (株)七〇九七
東京 六一五八三四八番
荒川 清美

定価三百五十円
三年間購読料
三千三百円



ドラマは「アディダス」と共にやってくる。

3063 HANDBALL SPECIAL
ハンドボールスペシャル
¥12,000(標準小売価格)
●ホワイト×ブルー
3064●ホワイト×レッド
3065●ホワイト×ブラック
もあります。



世界選手権。オリンピック。ヨーロッパカップ。ゲーム
が高度になればなるほどアディダスの真価は100%
発揮されます。鍛えぬいた実力を、大切な一戦で確
実に引き出してくれるハンドボールシューズ・ウェア。
世界の強豪、そしてわれわれが〈スリー・ストライプス〉
を選ぶ理由は、ただ一つ、勝利への熱い意欲です。

adidas® 

株式会社デサント/兼松スポーツ用品株式会社